

島根県教育庁

埋蔵文化財調査センター年報23

平成26年度

2015年3月

島根県教育委員会



1. 大西大師山遺跡（大田市）



2. 神谷遺跡 2・3号炭窯跡（大田市）



3. 城ヶ谷遺跡 瓦窯跡 (大田市)



4. 古屋敷遺跡 木棺墓 (大田市)

目 次

埋蔵文化財調査センターの概要	1
I 平成 26 年度の体制	2
1. 組 織	2
2. 職員一覧	2
II 埋蔵文化財活用事業	3
1. 埋蔵文化財調査センター講演会	3
2. 現地説明会	3
3. 文化財講座『いにしえ倶楽部』	4
(1) いにしえ倶楽部	4
(2) いにしえ倶楽部連続講座	4
4. 「ふるさと島根の遺物」貸出事業	4
5. 職場体験学習の受け入れ	4
6. 心に残る文化財子ども塾	5
7. 教員のための文化財活用講座	6
8. 見学等の案内	6
9. 職員の講師派遣	7
10. その他	7
11. 資料の貸出・調査等	7
(1) 資料調査	7
(2) 写真資料等	8
(3) 資料貸出	10
(4) その他	11
(5) 施設利用	11
(6) 埋蔵文化財調査センターホームページ閲覧数	11
III 研究事業	11
IV 研修・調査指導事業	12
1. 埋蔵文化財基礎研修	12
2. 埋蔵文化財専門研修	12
3. 調査指導等	13
V 会議・講習会参加	13
VI 発掘調査事業	14
1. 一般国道 9 号（出雲湖陵道路）改築工事に伴う発掘調査	15
2. 一般国道 9 号（朝山大田道路）改築工事に伴う発掘調査	19
3. 一般国道 9 号（静間仁摩道路）改築工事に伴う発掘調査	24
4. 国道 432 号道路（大庭バイパス）改築工事に伴う発掘調査	25
5. 一般県道矢尾今市線建設に伴う発掘調査	26

6. 学術調査等	27
(1) 風土記の丘地内遺跡調査	27
(2) 考古資料基礎調査研究（墓制調査事業）	28
(3) 考古資料基礎調査研究（出土品再整理事業）	29
(4) 保存処理・理化学分析	30
(5) 試掘確認調査・分布調査	33
Ⅵ 県内発掘調査一覧	34
Ⅶ 刊行物	39
1. 年報	39
2. ドキ土器まいぶん	39
3. 発掘調査報告書	39
4. 発掘調査パンフレット	40
5. 発掘調査だより	40
Ⅷ 付編	41
国道 432 号道路（菅原広瀬バイパス）改築工事に伴う試掘確認調査	41

埋蔵文化財調査センターの概要

埋蔵文化財調査センターの設置目的

島根県には、多数の青銅器が発見され全国的に注目された荒神谷遺跡や加茂岩倉遺跡をはじめ、全国で唯一ほぼ完本で伝わる『出雲国風土記』、国宝出雲大社本殿、世界文化遺産として登録された石見銀山遺跡など貴重な文化遺産が数多く存在しています。

その一方で、県内では1980年代から道路建設やダム建設などの各種開発事業が急増し、開発事業と埋蔵文化財保護との調整が課題となってきました。そこで、これらの課題に対処するとともに、県内の埋蔵文化財を調査・研究・保護し、調査成果の普及啓発を進めていくことを目的として、1992年（平成4年）に埋蔵文化財調査センターが設置されました。

埋蔵文化財調査センターの業務

- 埋蔵文化財の調査及び研究
- 出土遺物の分析（軟X線検査装置・赤外線映像撮影装置・実体顕微鏡など）
- 出土遺物の保存処理（木製品・金属製品）
- 考古資料の保存・収蔵・管理・活用
- 埋蔵文化財に関する研修（専門研修・埋蔵文化財基礎研修）
- 調査成果の普及活用（心に残る文化財子ども塾・文化財講座・講演会など）

設立年月日 平成4年4月1日

所在地 〒690-0131 島根県松江市打出町33番地 TEL0852-36-8608 FAX0852-36-8025

Eメールアドレス maibun@pref.shimane.lg.jp

ホームページアドレス <http://www.pref.shimane.lg.jp/maizobunkazai/>

施設と規模

本館棟	展示室	175㎡	収蔵庫棟	収蔵庫	1,448㎡	
	研修室	155㎡		機材庫・車庫	172㎡	
	所長室	25㎡		小計	1,620㎡	
	事務室・調査研究室	315㎡	いにしえ学習館棟	体験学習室	95㎡	
	図書室	73㎡		整理復元室	576㎡	
	資料保管室	75㎡		木器保管展示室	197㎡	
	特別収蔵室	122㎡		仮収蔵室（兼写場）	86㎡	
	写場	33㎡		収蔵庫	2,463㎡	
	整理復元室	429㎡		その他	279㎡	
	理化学分析室	35㎡		小計	3,696㎡	
	鉄器処理室	35㎡		小計	合計	7,835㎡
	木器処理室	35㎡				
	水洗室	70㎡				
	その他	942㎡				
	小計	2,519㎡				

I 平成 26 年度の調査体制

1. 組 織

島根県教育庁埋蔵文化財調査センター

所長	総務課長	総務課	予算経理、契約事務、施設管理
	管理課長	管理課	調査事業の調整、発掘調査の技術的総括・安全管理、試掘・分布調査、普及活用、資料管理、研修
	調査第1課長		調査事業（国道432号（大庭バイパス）改築事業）
		調査第1係	調査事業（国道9号（出雲湖陵道路）改築事業）
	調査第2課長	調査第2係	調査事業（国道9号（静間仁摩道路）改築事業）
		調査第3係	調査事業（国道9号（朝山大田道路）改築事業）
	調査第3課長		調査事業（県道矢尾今市線建設事業）
		調査第4係	風土記の丘地内発掘調査事業、研究事業の総括

2. 職 員 一 覧

職 名	氏 名
所 長	廣 江 耕 史
総務課	
課 長	渡 部 宏 之
主幹 嘱託	城 市 純 子 加 藤 ひ と み
事務補助員	濱 田 佐 知 子 江 角 久 美 子
管理課	
課 長	池 淵 俊 一
企画員 (兼)主任主事 調査補助員	守 岡 利 栄 東 森 晋 澤 田 正 明 子 上 山 晶 子
調査第1課	
課 長	大 庭 俊 次
調査第1係長 主事 嘱託 調査補助員	勝 部 智 明 人 見 麻 生 川 原 和 人 米 田 美 江 子 福 田 市 子 岩 橋 康 子 阿 部 智 子 片 寄 雪 美
調査第2課	
課長（調査第2係長）	林 健 亮

職 名	氏 名
文化財保護主任	伊 藤 智 太 増 田 浩 保
調査第3係長 企画員	宮 本 正 一 郎 久 保 田 一 郎
嘱託 調査補助員	是 田 敦 雄 内 田 律 雄 岩 田 剛 子 無 川 美 和 子 坂 根 健 悦 松 尾 健 二 渡 辺 聡 弘 松 山 智 治 子 阿 部 賢 康 子 幸 村 康 由 起
調査第3課	
課 長	今 岡 一 三
調査第4係長 文化財保護主任 調査補助員	岩 橋 孝 典 神 柱 靖 彦 田 中 玲 子 糸 川 沙 織 岩 本 真 美
宮城県派遣	
企画員	守 岡 正 司

Ⅱ 埋蔵文化財活用事業

島根県埋蔵文化財調査センターでは、埋蔵文化財の保護を円滑に行うために調査成果の公開、県民や学校教育現場などへの普及活用事業を行っている。

1. 埋蔵文化財調査センター講演会

島根県埋蔵文化財調査センターが実施している発掘調査の成果等を県民に分かりやすく情報発信する講演会で、年に一度島根県内において開催している。

平成26年度は、平成27年3月に全線開通することとなった中国横断自動車道尾道松江線（中国やまなみ街道）の建設に先立ち行った発掘調査の成果をもとに、調査担当者らによる講演や報告、山並みを越えた交流の歴史について考える鼎談を、以下の通り開催した。

なお、この講演会は、島根県立古代出雲歴史博物館特集展「中国横断自動車道尾道松江線開通記念 尾道松江線発掘物語」（会期：平成26年12月26日から平成27年2月22日まで）の関連催事として行った。

『遺跡がつなぐ出雲と広島ー山並みを越えた交流の歴史ー』

日 時：平成27年2月1日（日）13：00～16：15（12：30開場）

会 場：島根県立古代出雲歴史博物館講義室（出雲市大社町杵築東99-4）

参加者：101名

主 催：島根県埋蔵文化財調査センター・島根県立古代出雲歴史博物館・（公財）広島県教育事業団

内 容：

- ・講演「尾道松江線 発掘調査の成果」川原和人（前 島根県埋蔵文化財調査センター所長）
- ・報告「堂床遺跡の調査と出雲の玉作り」是田 敦（島根県埋蔵文化財調査センター企画員）
- ・報告「尾道松江線調査で判明した出雲の鉄作りの歴史」松尾充晶（島根県古代文化センター専門研究員）
- ・報告「上野1号墳の調査が与えたインパクト」池淵俊一（島根県埋蔵文化財調査センター管理課長）
- ・鼎談「山並みを越えた交流ー過去、現在、そして未来へー」

伊藤 実（公益財団法人広島県教育事業団埋蔵文化財調査室長）

川原和人、廣江耕史（島根県埋蔵文化財調査センター所長）

2. 現地説明会

調査中の遺跡の一般公開、調査地近隣自治会への調査成果報告会を行った。

遺跡名	開催日	場 所	参加者	備 考
神谷遺跡	平成26年7月19日（土）13：30～	大田市久手町	72名	
城ヶ谷遺跡	平成26年10月4日（土）13：30～	大田市久手町	54名	
古屋敷遺跡	平成26年11月8日（土）13：30～	大田市仁摩町	80名	
大西大師山遺跡	平成26年11月9日（土）13：30～	大田市久手町	60名	荒天により現地公開中止・遺物解説実施
東百塚山古墳群	平成27年1月24日（土）13：30～	松江市大草町	87名	
坂本谷遺跡	平成27年2月21日（土）10：00～	出雲市東神西町	20名	地元自治会を対象
合 計				約373名

3. 文化財講座『いにしえ倶楽部』

埋蔵文化財をより身近に感じてもらうことを目的とし、調査の成果や当センターで保管している出土品などを活用して開催する講座。今年度は、親子等を対象とし体験的な活動を中心とした催しとして「いにしえ倶楽部」を2回計画した（うち1回は中止）。また歴史や文化財に興味関心のある一般の方を対象とした講義形式での講座「いにしえ倶楽部連続講座」を3回行った。

(1) いにしえ倶楽部

	会場	内容	参加者	実施日
第64回『みがついて作る！古代の鏡』	埋蔵文化財調査センター 研修室	遺跡出土の青銅鏡解説・展示・ミニ金属鏡の鑄造研磨体験	80名	8月17日（日）
第65回『ゆるキャラと古墳の謎にチャレンジ』	埋蔵文化財調査センター 古墳の丘古曾志公園ほか	所内見学・クイズに答えながら古墳を廻るウォーキング	—	10月5日（日） ※中止
合 計			80名	

(2) いにしえ倶楽部 連続講座

実施日	演 題	講 師	参加者
平成26年7月6日（日）	「震災からの復興と文化財」	廣江耕史・ 大庭俊次・今岡一三	38名
平成27年1月25日（日）	「発掘された石見焼」	東森 晋	28名
平成27年2月22日（日）	「弥生時代後期の社会を探る ～銅鐸と土器の文様の推移から～」	岩橋孝典	61名
合 計			127名

4. 「ふるさと島根の遺物」貸出事業

当センターが保管している土器や石器を学校等へ貸し出し、地域の歴史や文化財を学ぶための教材として活用している。

	貸出セット名（セット番号）	申請者	使用目的	貸出期間
1	弥生食卓セット A (12)	島根県立八雲立つ風土記の 丘所長	大庭小学校4年生の古代の稲作 学習（5/12）の教材として	5月8日～
	弥生稲作セット A (15)			5月12日
2	縄文狩猟セット A (1)	島根大学教育学部附属中 学校長	オープンスクール（8/18）社会 科の中で大昔の生活の学習教材 として	8月11日～ 8月22日
	縄文土器セット D (9)			
	弥生食卓セット A (12)			
	弥生稲作セット A (15)			
合 計			2団体のべ6セット	

※職員による子ども塾等での利用は含まない。

5. 職場体験学習の受け入れ

学校からの依頼を受け、職場体験の生徒を受け入れた。

実施日	学校等	内容
6月17日（火）・18日（水）	島根県立緑が丘養護学校高等部3年生1名	デジタルトレース作業

6. 心に残る文化財こども塾

県内の小・中学校及び特別支援学校の児童生徒を対象に、埋蔵文化財を教材とし、古代体験活動や遺跡見学を盛り込んだ出前授業を行った。

	学校名	実施日	対象学年	人数	テーマ・主題等	体験活動等
1	大田市立久手小学校	5月20日(火)	6	39	古代の生活に触れてみよう	勾玉作り
2	出雲市立神西小学校	5月20日(火)	6	33	奈良の大仏作りにかかる思い	大仏パネル
3	安来市立赤屋小学校	5月21日(水)	5・6	9	安来市近辺の歴史や遺跡を知る	金属鏡作り 古代衣装体験
4	大田市立朝波小学校	5月21日(水)	6	25	波根古墳時代について体験しながら調べよう	勾玉作り
5	大田市立久屋小学校	5月26日(月)	6	12	「奈良の大仏」の巨大さと、込められた思い	大仏パネル
6	安来市立島田小学校	5月28日(水)	6	36	「奈良の大仏」の巨大さと、込められた思い	大仏パネル
7	雲南市立木次中学校	5月29日(木)	1・2	148	ふるさと木次の歴史と和同開珎づくり	和同開珎づくり
8	飯南町立頼原小学校	5月29日(木)	6	12	古代人の生活にふれてみよう	埴輪づくり
9	大田市立北三瓶小学校	6月5日(木)	6	5	古墳時代や奈良時代の生活について体験的、専門的に学ぶ	和同開珎づくり
10	隠岐の島町立北小学校	6月5日(木)	6	7	ふるさとの歴史にふれよう	勾玉づくり
11	隠岐の島町立五箇小学校	6月6日(金)	6	7	勾玉の謎を探ろう	勾玉づくり
12	雲南市立鍋山小学校	6月10日(火)	6	8	ふるさと三刀屋の歴史を学ぼう ～三刀屋・鍋山の戦国時代～	遺跡現地見学
13	出雲市立荒木小学校	6月10日(火)	6	65	奈良の大仏作りにかかる思い	大仏パネル
14	大田市立仁摩小学校	6月11日(水)	6	41	仁摩町内の遺跡を学ぶ	和同開珎づくり
15	益田市立都茂小学校	6月11日(水)	5・6	14	学校周辺にある遺跡について知る	金属鏡作り
16	益田市立横田中学校	6月13日(金)	1・2・3 (特支学級)	3	縄文・弥生人の生活を知らう	火起こし体験と古代食作り
17	浜田市立岡見小学校	6月16日(月)	6	9	奈良時代の三隅と奈良の大仏	大仏パネル
18	川本町立川本中学校	6月20日(金)	1	21	ふるさと川本の文化財めぐり ～石見銀山への道～	遺跡めぐり
19	吉賀町立蔵木小学校	6月23日(月)	6	8	吉賀町の縄文・弥生時代の様子	縄文・弥生土器作り
20	松江市立八束小学校	6月25日(水)	6	36	奈良時代の八束と奈良の大仏	大仏パネル
21	安来市立布部小学校	6月27日(金)	5・6	13	地域の歴史を知る	勾玉作り
22	飯南町立来島小学校	7月2日(水)	6	7	飯南町にある遺跡見学と解説	遺跡現地見学
23	奥出雲町立三沢小学校	7月8日(火)	5・6	11	「三沢のたたら」について学ぼう	遺跡見学
24	松江市立秋鹿小学校	9月9日(火)	6	8	学校周辺の古墳・遺跡見学	古墳・遺跡見学
25	松江市立第一中学校	10月2日(木)	1・2・3 (特支学級)	12	大昔の人々の暮らし	古代食作り・火おこし
26	島根県立松江養護学校	10月20日(月)	高等部	16	遺跡見学・解説(風土記の丘周辺等)	遺跡現地見学
合計 26 校・のべ参加児童生徒数 605 人						

7. 教員のための文化財活用講座

当センターでは県内小中学校教員等を対象とし、身近な地域に根ざした学習の創造に資するため地域の文化財や郷土の歴史資料等を活用した学習活動についての研修を年1回開催している。

今年度は、大田市学校教育研究会社会科部会と共催で以下のとおり行った。

開催日：平成26年8月7日（木）9：00～12：30

主催：島根県埋蔵文化財調査センター・大田市学校教育研究会社会科部会

協力：大田市教育委員会

会場：大田市立仁万まちづくりセンター・大田市仁摩農村環境改善センター・古屋敷遺跡現地

参加者：16名

内容：

- ・見学「発掘中の古屋敷遺跡と出土品について」林 健亮（島根県埋蔵文化財調査センター）
- ・古代食ミニ体験会「ドングリハンバーグを作ろう」増田浩太（島根県埋蔵文化財調査センター）
- ・歴史学習に役立つ教材等紹介
 - ①「大田市内の遺跡紹介～見学できる遺跡等を中心に」野島智美（大田市教育委員会）
 - ②「埋文センターの普及活用事業紹介」守岡利栄（島根県埋蔵文化財調査センター）
柳浦俊一（島根県立古代出雲歴史博物館）

8. 見学等の案内

当センターでは展示室は開庁時開放し見学受け入れを行っているほか、学校や各種団体等より事前申し込みがあった際は整理作業や収蔵状況等の見学案内、古代体験活動、隣接する古墳の丘古曾志公園の案内を行っている。発掘調査現場では、受入れ対応が可能な場合見学案内を行っており、今年度は以下の発掘調査現場において見学案内等を行った。

(1) 埋文センター見学案内

月 日	見学者（団体）	時間	人数	見学案内	体験活動
5月21日	松江市立来待小学校大野原分校	100分	5名	所内	勾玉作り
5月26日	出雲市立北浜小学校5・6年生	80分	15名	所内・公園	勾玉作り
7月8日	出雲市立久多美小学校6年生	60分	28名	所内	—
7月23日	島根大学法文学部考古学ゼミ	70分	19名	所内	—
9月9日	くにびき学園「東部校」1年社会文化科	70分	19名	所内	—
10月2日	島根県立松江ろう学校中等部	135分	4名	館内	勾玉作り
10月23日	島根大学教育学部附属小学校	140分	26名	館内・公園	勾玉作り
合 計				116名	

(2) 発掘調査現場見学案内

月 日	見学者（団体）	時間	人数	場 所
9月26日	大田市立大田西中学校1年生（総合的な学習）	60分	13名	大田市古屋敷遺跡
11月18日	出雲市立佐田中学校ゆうゆう学級（校外学習）	60分	4名	出雲市九景川遺跡
合 計				17名

9. 職員の講師派遣（※平成26年1月4日～平成27年1月4日までに申請があったもの）

各種団体等からの依頼を受け講演会や古代体験学習等への職員派遣を認めた。

月 日	内 容	場 所	派遣依頼者	講 師
7月19日	青銅器の埋納場所を考える	荒神谷博物館（出雲市）	荒神谷博物館館長	増田浩太
9月27日	古代体験学習（勾玉作り）指導（180名）	松江市立古志原小学校 体育館（松江市）	松江市立古志原小学校 保護者会3年部学年委員長	守岡利栄
10月18日	特別講演会 （鏡についての講演）	八雲郷土文化保存伝習 施設（松江市）	松江市八雲郷土文化 保存伝習施設館長	松山智弘
10月19日	魚見塚古墳現地での説明	大橋川市民参加型 イベント（松江市）	松江市長	神柱靖彦
12月6日	加茂岩倉遺跡の銅鐸について	加茂文化ホール ラメール（雲南市）	雲南市教育委員会 教育長	増田浩太

10. その他

- ・サンレイクフェスティバル2014への参加（主催：島根県立青少年の家ほか）

期日：平成26年10月19日（日）9：30～15：30

会場：島根県立青少年の家「サン・レイク」

内容：勾玉作り体験ブース（200個）

11. 資料の貸出・調査等

- (1) 資料調査（※平成26年1月6日から平成26年12月26日までに申請があったもの）

研究や展示借用のための事前調査など、資料の実見に関して応じている。

資 料 名	点数	申 請 者	月 日
中野清水遺跡土器	33	韓国東洋大学教授	1月15日
古志本郷遺跡土師器ほか	17	出雲弥生の森博物館職員	1月17日
西川津遺跡縄文土器ほか	42	古代出雲歴史博物館学芸員	2月14日～18日
原田遺跡旧石器ほか	834	古代文化センター研究職員	2月19日～3月12日
中野美保遺跡弥生土器ほか	26	宮崎県立西都原考古博物館学芸員	3月10日
島田池遺跡須恵器ほか	165	出雲弥生の森博物館職員	3月12日
九景川遺跡シジミガイほか	多数	高知県文化財団埋蔵文化財センター職員	3月13日～14日
一の谷古墳出土鉄器ほか	52	島根県古代文化センター研究職員	3月17日～24日
徳見津遺跡鉄製鋤先	14	名古屋大学学生	3月20日
観音寺1号墳鉄鍬ほか	589	古代出雲歴史博物館学芸員	4月14日～18日
宮ノ前遺跡旧石器ほか	108	古代出雲歴史博物館学芸員	4月21日～25日
白コクリ遺跡単龍環頭大刀	1	京都大学学生	4月28日
半分瓦窯跡瓦ほか	20	出雲弥生の森博物館職員	5月2日
青木遺跡墨書土器ほか	24	出雲弥生の森博物館職員	5月12日
中野清水遺跡三韓系土器ほか	67	古代出雲歴史博物館学芸員	5月14日
山代郷正倉跡調査原図	5	松江市職員	5月26日

青木遺跡出土墨書土器ほか	7	出雲弥生の森博物館職員	5月27日
板屋Ⅲ遺跡羽口ほか	77	愛媛大学准教授	5月29日
富田川河床遺跡鉄素材	3	文化財課職員	5月29日
天満谷遺跡陶磁器ほか	233	大田市職員	7月5日
出雲国府跡木簡ほか	60	古代出雲歴史博物館学芸員	7月9日
仁右エ門山遺跡瓦ほか	85	出雲弥生の森博物館職員	7月28日
サルガ鼻遺跡ウミニナ	一括	古代出雲歴史博物館学芸員	7月29日～8月8日
小深原遺跡石器ほか	368	古代文化センター研究職員	7月30日～8月15日
才ノ峠遺跡	5	古代出雲歴史博物館学芸員	8月11日
三田谷Ⅰ遺跡網代ほか	一括	東北大学植物園名誉教授	9月3日
原田遺跡旧石器ほか	867	広島大学学生	9月4日～26日
西川津遺跡木製品ほか	14	京都大学学生	9月5日
出雲国府木簡ほか	36	國學院大學教授	9月8日
三田谷Ⅰ遺跡土馬ほか	25	出雲弥生の森博物館職員	9月8日
島田池遺跡鉄鏃	107	島根大学学生	9月8日～12日
原田遺跡石斧ほか	103	古代出雲歴史博物館学芸員	9月12日
原田遺跡旧石器ほか	918	古代文化センター研究職員	10月1日～17日
古曾志大谷1号墳須恵器ほか	50	松江市立鹿島歴史民俗資料館職員	10月12日
仁右エ門山遺跡瓦	4	文化財課世界遺産室職員	10月20日～31日
犬町廃寺軒丸瓦	1	出雲弥生の森博物館職員	10月22日
上塩冶横穴墓群金糸	3	東京国立博物館客員研究員	11月18日
山代郷南新造院灯明皿ほか	53	八雲立つ風土記の丘学芸員	11月25日
廟所古墳埴輪	29	立命館大学学生	12月1日
久本奥窯跡鴟尾ほか	18	鳥取県埋蔵文化財調査センター職員	12月2日
タテチョウ遺跡土笛ほか	572	大阪府立近つ飛鳥博物館学芸員	12月3日
重富遺跡瓦ほか	116	東広島市出土文化財管理センター職員	12月22日
仲仙寺2号墳鉄鏃	21	島根大学学生	12月22日

(2) 写真資料等（※平成26年1月6日から平成26年12月26日までに申請があったもの）

単行本や雑誌、展示図録などの写真の掲載に応じている。

資料名	点数	貸出先等	使用目的	貸出期間
出雲国府跡出土木棺ほか	7	古代文化センター	ガイドブック掲載	1月17日～3月31日
タテチョウ遺跡縄文土器ほか	2	(株)雄山閣	書籍掲載	1月21日～4月25日
松本古墳群道路遺構ほか	3	個人	講座資料	1月21日～2月28日
東船遺跡細石刃核	3	隠岐の島町教育委員会	副教材掲載	1月21日～3月31日
荒神谷遺跡銅剣・銅鐸・銅矛	9	荒神谷博物館	ロゴ使用	掲載許可
三田谷Ⅰ遺跡木棺ほか	6	古代文化センター	ガイドブック掲載	2月24日～3月31日
荒神谷遺跡銅鐸銅矛調査風景ほか	2	荒神谷博物館	広報紙掲載	3月5日～4月30日
荒神谷遺跡銅剣出土状況	1	個人	書籍掲載	3月14日～5月30日

荒神谷遺跡銅剣・銅矛	2	(株)育鵬社	教科書掲載	掲載許可
東淵古墳遺物出土状況ほか	12	八雲立つ風土記の丘	速報展示	3月24日～5月16日
古志本郷弥生土器集合写真	1	(公財)広島市文化財団	企画展示	4月5日～6月22日
上塩冶横穴墓群出土金糸	2	高岡市美術館	企画展示	4月8日～3月8日
堂床遺跡出土碧玉ほか	2	なす風土記の丘資料館	企画展示	4月12日～6月15日
上野1号墳遠景ほか	4	古代出雲歴史博物館	企画展示	4月22日～7月24日
古屋敷遺跡現地説明会資料ほか	3	(株)ジャパン通信情報センター	書籍掲載	4月22日～7月31日
加茂岩倉遺跡銅鐸集合写真ほか	1	(有)鉾脈社	書籍掲載	5月9日～30日
上野1号墳近景ほか	34	古代出雲歴史博物館	企画展示	5月27日～2月22日
西川津遺跡流水文土器	1	国立歴史民俗博物館	企画展示	6月9日～8月1日
荒神谷遺跡発掘調査写真	25	個人	講演会資料	6月16日～7月13日
庵寺古墳群 1-B号墳主体部ほか	10	八雲立つ風土記の丘	ミニ企画展示	6月18日～9月18日
小三才谷遺跡全景ほか	38	来待ストーン	常設展示	6月20日～7月23日
青木遺跡建物群航空写真ほか	4	出雲弥生の森博物館	企画展示	6月30日～9月8日
荒神谷遺跡銅剣出土状況	1	出雲市	HP掲載	7月1日～8月31日
中野清水遺跡出土土器ほか	4	中国新聞社	新聞掲載	6月30日～7月30日
荒神谷遺跡銅剣出土状況ほか	3	荒神谷博物館	PR映像掲載	掲載許可
荒神谷遺跡銅剣出土状況ほか	9	山陰中央新報社	雑誌掲載	7月8日～7月14日
荒神谷遺跡銅剣出土状況ほか	4	荒神谷博物館	リーフレット掲載	掲載許可
原田遺跡土器埋設遺構断ち割状況ほか	2	松江市史料編纂室	書籍掲載	7月22日～3月31日
荒神谷遺跡銅剣調査状況ほか	4	出雲市	広報紙掲載	7月31日～8月4日
青木遺跡出土絵馬ほか	3	古代文化センター	ポスター等掲載	8月1日～9月7日
西川津遺跡出土ト骨	1	松江市史料編纂室	書籍掲載	8月15日～3月31日
荒神谷遺跡銅鐸・銅矛出土状況ほか	8	宮崎県立西都原考古博物館	特別展示	8月25日～11月30日
渋山池遺跡全景	1	松江市史料編纂室	書籍掲載	8月25日～3月31日
西川津遺跡漆入り容器	2	東村山ふるさと歴史館	特別展示	9月1日～12月21日
西川津遺跡・タテチョウ遺跡土笛	1	山梨県立考古博物館	特別展示	9月3日～11月24日
青木遺跡神像	1	滋賀県立安土城考古博物館	特別展示	掲載許可
青木遺跡神像	1	個人	論文掲載	掲載許可
荒神谷遺跡	1	出雲市	広報紙掲載	9月3日～10月22日
板屋Ⅲ遺跡土層ほか	5	飯南町大しめなわ創作館	常設展示	9月4日～3月31日
出雲国廳址石碑写真	1	個人	講演資料	9月9日～30日
三田谷Ⅰ遺跡 SK62 ほか	3	出雲弥生の森博物館	ギャラリー展	9月11日～2月2日
山持遺跡板絵写真	1	(株)大月書店	書籍掲載	9月18日～11月1日
出雲国府跡国司館ほか	11	個人	講座資料	9月18日～27日
荒神谷遺跡出土銅剣・銅鐸	2	(株)はる制作室	書籍掲載	9月25日～10月16日
荒神谷遺跡銅剣出土状況	1	(株)PH P 研究所	書籍掲載	9月25日～11月4日
山代郷北新造院跡出土鬼瓦	1	奈良国立博物館	広報紙掲載	9月12日～10月15日
古志本郷遺跡出土大刀ほか	2	出雲弥生の森博物館	ギャラリー展	10月1日～2月2日

相生遺跡全景ほか	3	出雲弥生の森博物館	企画展	10月24日～1月12日
古志本郷遺跡KⅡ区出土土器	1	松江市史料編纂室	書籍掲載	10月30日～3月31日
勝負遺跡助門時代の竪穴住居	2	松江市史料編纂室	書籍掲載	11月5日～3月31日
鉄穴内遺跡出土鍛冶関連遺物	1	個人	書籍掲載	掲載許可
高浜Ⅰ遺跡調査前風景ほか	12	高浜歴史研究会	書籍掲載	12月24日～3月31日

(3) 資料貸出（※平成26年1月6日から平成26年12月26日までに申請があったもの）

所蔵する資料を有効に活用するために、外部からの依頼に応じて貸出を行っている。

資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出期間
東淵寺古墳円筒埴輪ほか	42	八雲立つ風土記の丘	速報展示	3月24日～5月16日
五反配遺跡靴形木製品ほか	13	荒神谷博物館	常設展示	4月1日～平成27年3月31日
大東高校グラウンド遺跡玉類	4	松江市立出雲玉作資料館	常設展示	4月1日～平成27年3月31日
今佐屋山遺跡出土砂鉄ほか	2	和銅博物館	常設展示	4月1日～平成27年3月31日
団原古墳土器ほか	731	八雲立つ風土記の丘	常設展示	4月1日～平成27年3月31日
原田遺跡石器ほか	1529	古代出雲歴史博物館	常設展示	4月1日～平成27年3月31日
板屋Ⅲ遺跡土器ほか	21	三瓶自然館	常設展示	4月1日～平成27年3月31日
前立山遺跡土器ほか	233	吉賀町水源会館	常設展示	4月1日～平成27年3月31日
古志本郷遺跡土器ほか	271	出雲弥生の森博物館	常設展示	4月1日～平成27年3月31日
石見銀山遺跡藤田地区 「土壁」復原模型	1	石見銀山世界遺産センター	常設展示	4月1日～平成27年3月31日
出雲国府跡墨書土器ほか	42	八雲立つ風土記の丘	ミニ企画展示	5月14日～7月4日
上塩冶横穴墓群出土金糸	1	高岡市美術館ほか	企画展示	6月2日～平成27年3月31日
庵寺1-B号墳石棺ほか	132	八雲立つ風土記の丘	ミニ企画展示	6月18日～9月18日
西川津遺跡流水文土器ほか	4	国立歴史民俗博物館	企画展示	6月23日～10月3日
青木遺跡墨書土器ほか	48	出雲弥生の森博物館	企画展示	6月25日～9月22日
島田1号墳筒形器台ほか	502	古代出雲歴史博物館	企画展示	7月1日～10月17日
高浜Ⅰ遺跡将棋盤ほか	3	出雲弥生の森博物館	イベント展示	7月2日～8月8日
出雲国府跡木簡ほか	85	古代出雲歴史博物館	研究会展示	8月29日～9月11日
東船遺跡出土石器	4	古代文化センター	企画展示	9月1日～28日
板屋Ⅲ遺跡石器ほか	3	飯南町大しめなわ創作館	常設展示	9月4日～平成27年3月31日
相生遺跡瓦ほか	8	出雲弥生の森博物館	企画展示	9月12日～平成27年1月31日
三田谷Ⅰ遺跡斎申ほか	20	出雲弥生の森博物館	ギャラリー展示	9月12日～平成27年2月17日
西川津遺跡人面付土器ほか	47	宮崎県立西部原考古博物館	特別展示	10月6日～12月5日
西川津遺跡縄文土器ほか	9	古代出雲歴史博物館	イベント展示	10月17日～21日
古曾志大谷1号墳須恵器ほか	49	松江市立鹿島歴史民俗資料館	特別展示	10月22日～平成27年2月13日
三田谷Ⅰ遺跡灯明皿ほか	40	八雲立つ風土記の丘	ミニ企画展示	12月15日～平成27年2月27日

職員への貸出 40件

(4) その他

所蔵する機材や物品の貸出に応じている。

資料名(点数)	貸出先	使用目的	貸出期間
火起こし道具(5)	比田の子育てを考える会	イベント	8月5日～11日
写真パネル(6)	出雲市文化財課	地元説明会	8月6日～13日
火越し道具(12)	松江市立湖北中学校	学習教材	9月17日～18日
火越し道具(30)	島根県教育センター	古代体験	10月23日～11月5日
勾玉製作道具(一式)	古代出雲歴史博物館	古代体験	10月29日～11月12日

(5) 施設利用

月日	内容	使用者
7月7日	X線撮影	島根大学
11月12日	写場利用	古代出雲歴史博物館
12月19日	写場利用	古代出雲歴史博物館

(6) 埋蔵文化財調査センターホームページ閲覧数

当センターの事業内容や現地説明会、講演会、発掘だよりなどの情報を多くの人々に公開し、埋蔵文化財に対する興味と理解を高めることを目的に、ホームページを運用している。

2014年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
	1,204	1,034	968	1,198	1,228	1,197	1,263	1,175	1,412	1,243	1,112	1309	14,343

Ⅲ 研究事業

島根県古代文化センターの研究事業のうち、基礎研究「考古資料基礎調査研究事業」、及びテーマ研究について、以下のとおり当センター職員も参画し、共同研究の一翼を担った。

調査事業名	細事業	当センターの担当者
考古資料基礎調査研究事業 青銅器調査	① 三木文雄資料整理 ② 荒神谷遺跡出土品再実測	是田 敦、増田浩太
考古資料基礎調査研究事業 墓制調査	① 上竹矢7号墳・東淵寺古墳調査・整理 ② 東百塚山古墳群調査・整理 ③ 益田地区の古墳調査報告 金山古墳、鶴ノ鼻古墳群、北長廻横穴墓群	岩橋孝典、神柱靖彦、 池淵俊一、勝部智明
考古資料基礎調査研究事業 生産遺跡調査(製鉄遺跡)	① 整理・隠地発掘調査	宮本正保、勝部智明
考古資料基礎調査研究事業 基礎資料調査	意宇平野集落遺跡出土品再整理	岩橋孝典、神柱靖彦、 池淵俊一
テーマ研究	近世・近代石見焼の研究	東森 晋
テーマ研究	国家形成期の首長権と地域社会構造	池淵俊一、岩橋孝典

Ⅳ 研修・調査指導事業

1. 埋蔵文化財基礎研修

島根県及び県内市町村教育委員会等の埋蔵文化財担当職員のうち、埋蔵文化財調査未経験者または初心者を対象とした基礎的な研修。今年度は募集に対し応募のあった下記について実施した。

【埋蔵文化財基礎講座】

日 時：平成 26 年 4 月 21 日（月）～ 4 月 25 日（金）

場 所：埋蔵文化財調査センター研修室ほか

参 加：5 名

講 師：島根県教育庁文化財課職員及び島根県埋蔵文化財調査センター職員

内 容：(1) 所長講話 (2) 文化財保護行政の歩みと文化財行政の現状
(3) 文化財保護法と事務手続き（含 埋蔵文化財発掘調査等にかかる島根県基準）
(4) 発掘調査の計画と安全管理 (5)～(8) 考古学概説Ⅰ～Ⅴ
(9) 発掘調査に関連した諸科学 (10) 報告書の作成と遺物の整理方法
(11) 遺物実測概論・実習 (12) 文化財写真概論

2. 埋蔵文化財専門研修

島根県及び県内市町村埋蔵文化財担当者等を対象とし、埋蔵文化財発掘調査に必要な高度な専門知識や技術の習得を目的とした研修を実施した。

【第 1 回】

日 時：平成 26 年 7 月 11 日（金）13：30～16：00

場 所：島根県埋蔵文化財調査センター研修室

参 加：31 名

テーマ：近刊の発掘調査報告書総括報告会

- (1) 発表「庵寺古墳群の調査成果」 深田 浩（島根県教育庁文化財課主幹）
- (2) 講義「弥生時代から古墳時代における遺跡出土朱とその産地に関する最新成果」
南 武志（近畿大学理工学部教授）

【第 2 回】

日 時：平成 26 年 9 月 8 日（月）13：30～16：00

場 所：島根県埋蔵文化財調査センター研修室

参 加 60 名

テーマ：島根県の古墳時代研究の最新成果～古代文化センターテーマ研究事業成果報告会～

- (1) 発表「テーマ研究『前方後方墳と東西出雲の成立に関する研究』の成果と課題」
仁木 聡（島根県立古代出雲歴史博物館主任学芸員）
- (2) 講義「5 世紀の王権と開発」 菱田哲郎（京都府立大学文学部教授）

【第 3 回】

日 時：平成 27 年 2 月 20 日（金）10：30～15：40

場 所：島根県埋蔵文化財調査センター研修室

参 加：64 名

テーマ：平成 26 年度県内発掘調査速報会

- (1) 「大田市古屋敷遺跡」 増田浩太（島根県埋蔵文化財調査センター文化財保護主任）
- (2) 「大田市大西大師山遺跡」 宮本正保（島根県埋蔵文化財調査センター調査第二係長）
- (3) 「出雲市高浜Ⅰ遺跡」 今岡一三（島根県埋蔵文化財調査センター調査第三課長）
- (4) 「出雲市川原宮Ⅱ遺跡」 大庭俊次（島根県埋蔵文化財調査センター調査第一課長）
- (5) 「松江市茶山遺跡」 徳永 隆（松江市まちづくり文化財課主任）
- (6) 「出雲市越堂たたら跡」 幡中光輔（出雲市文化財課主事）
- (7) 「大田市石見銀山遺跡（昆布山谷地区）」 山手貴生（大田市教委石見銀山課技師）
- (8) 「安来市富田城跡」 舟木 聡（安来市教委文化課主幹）
- (9) 「出雲市玉泉寺遺跡・九景川遺跡」 人見麻生（島根県埋蔵文化財調査センター主事）
- (10) 「大田市神谷遺跡・城ヶ谷遺跡」 久保田一郎（島根県埋蔵文化財調査センター企画員）
- (11) 「松江市東百塚山古墳群」 岩橋孝典（島根県埋蔵文化財調査センター調査第四係長）

3. 指導等

県内市町村教育委員会や文化財所有団体の依頼を受けて行った。

月 日	依頼者	内容	派遣者
10月3日	宗教法人佐太神社代表役員	重要文化財佐太神社正中殿小屋裏の墨書の赤外線カメラ撮影指導及び解析	澤田正明

V 会議・講習会参加

当センターが加盟している全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会の総会、中国・四国・九州ブロック会議及び研修会に参加した。

- (1) 総会 平成 26 年 5 月 29 日～30 日 山梨県甲府市 岡島ローヤル会館
- (2) 中国・四国・九州ブロック会議 平成 26 年 10 月 9 日 広島県福山市 ふくやま草戸千軒ミュージアム（広島県立歴史博物館）
- (3) 研修会 欠席

文化庁が主催する埋蔵文化財担当職員等講習会に参加した。

第 2 回講習会 平成 27 年 2 月 4 日～6 日 岡山県岡山市 ピュアリティまきび

Ⅵ 発掘調査事業

受託事業

平成26年度は5事業14遺跡の本発掘調査を行った。事業の内訳は国直轄事業の一般国道9号改築事業（出雲湖陵道路、朝山大田道路、静間仁摩道路）、国道432号（大庭バイパス）改築事業、一般県道矢尾今市線事業である。

今年度から調査を開始した出雲湖陵道路予定地内では、出雲市東神西町の坂本谷遺跡では中世の集落を、九景川遺跡では丘陵斜面に展開する古墳時代中期～後期の集落などの調査を実施した。朝山大田道路予定地内では、大田市久手町の大西大師山遺跡で横穴墓群と石切場跡を、神谷遺跡で古代の横口付炭窯を、城ヶ谷遺跡で近代石見焼の登窯と奈良時代の集落の調査を実施した。また昨年度から調査を行っている静間仁摩道路予定地内の古屋敷遺跡では、縄文時代晩期の木棺墓や水さらし場遺構を良好な状態で検出するなど、重要な成果が得られている。大庭バイパス予定地内の川原宮Ⅱ遺跡では、中世の採掘粘土坑が極めて集中する状況で検出された。また、県道矢尾今市線内に所在する出雲市高浜Ⅰ遺跡では中世の集落が確認されている。

学術調査

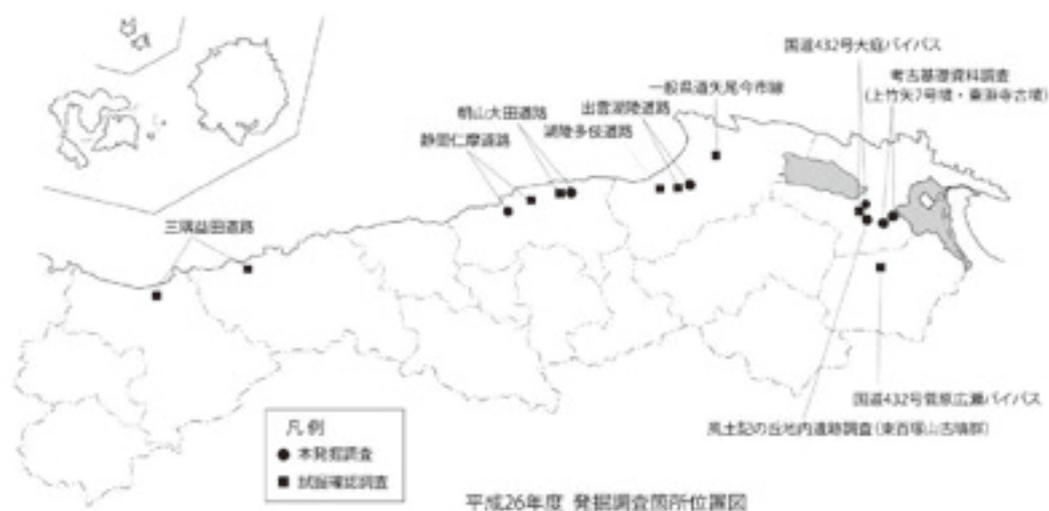
昨年に引き続き、6世紀末の前方後円墳である東淵寺古墳（松江市大庭町）の調査を実施した。また、出雲最古の前方後円墳の可能性が指摘されている同市竹矢町に所在する上竹矢7号墳の調査を実施した。残念ながら築造時期解明に結びつく遺物は出土しなかったが、墳丘構造を考える上で重要な成果が得られた。また、昨年度と同様に、大草丘陵古墳群（松江市大草町）の測量調査を引き続き行うとともに、東百塚山古墳群の一部の確認調査を実施した。その結果、20号墳が弥生時代後期後葉の四隅突出墓であることが判明するなど、当該古墳群の築造時期や性格を考える上で貴重な資料を得ることができた。

分布調査

今年度は、一般国道9号（出雲湖陵道路、福光浅利道路、湖陵多伎道路）改築事業の各予定地で分布調査を実施した。

報告書作成

一般国道9号（朝山大田道路）改築事業にかかる2遺跡の調査報告書を作成したほか、県庁舎耐震化工事に伴う松江城三之丸及び松江城下町遺跡の報告書を作成した（内訳はⅦ刊行物3.発掘調査報告書に掲載）。



1. 一般国道9号（出雲湖陵道路）改築工事に伴う発掘調査

事業概要 この調査は国土交通省松江国道事務所から委託を受けて実施している。初年度となる今回は、出雲市東神西町から西神西町に所在する4遺跡（東から玉泉寺裏遺跡・九景川遺跡・麓Ⅱ遺跡・坂本谷遺跡）の調査を2班体制で行った。

麓Ⅱ遺跡

調査概要 遺跡は、出雲平野南西部の標高約101 mの丘陵に居を構える中世城館・神西城の東麓、標高約8 m前後の平地に位置する。平成25年度に橋脚及び橋台工事予定地について試掘調査を実施し、古代から中世と考えられるピット群のほか、下層に縄文土器包含層が確認されたことから今回の本調査に至った。

神西城の丘陵裾から市道部分にかけてを1区、東に向かって水田部に2～4区を設定し、調査面積は合計約1,370㎡を測る。現地調査は5月28日～8月29日(2～4区)と9月17日～10月14日(1区)の期間、調査員1名、調査補助員2名で実施した。

基本層序は、丘陵裾の1区は①耕作土・造成土-②灰色系土砂-③黒色系土砂-④黄褐色土(地山)と続き、地山上面で遺構を検出している。一方、水田部では①耕作土・造成土-②粘土(古代～中世遺構検出面)・粘砂-③砂質土(縄文土器包含層)-④砂・砂礫(縄文時代遺構面)と続く。③～④は河川氾濫や土石流などによる堆積と考えられる。

遺構の概要 1区でピットのほか溝状の浅い掘り込みを確認した。比較的急斜面に掘り込まれており、通常の建物跡とは考えにくいことから神西城の最外郭の防備施設の可能性もある。3・4区では粘土層上面でピットを多数検出している。直上に堆積した土砂及びピット埋土からは時期を特定できる遺物がほとんど出土していないため明確な時期は不明だが、耕作土からは土師器小片や古銭、青磁片が出土していることから古代～中世頃の建物跡と考えられる。また、4区では最下面で縄文時代後期頃の土坑を検出した。

遺物の概要 2区では川跡と見られる落ち込みの埋土から縄文時代後期末～晩期初頭頃の土器が出土した。一方3・4区では縄文後期前半の土器のほか、若干の石器と獣骨が出土した。遺物の出土量は3区が多い。

まとめ 1・3・4区で柱穴を多数確認できたことは、県内有数の中世城館として知られる神西城との関連で注意される。中でも1区は傾斜が変わる丘陵裾にあたり、防衛施設が



遺跡位置図 (1/25,000 神西湖)



麓Ⅱ遺跡1区完掘状況

広く展開していた可能性を示唆する。また、2～4区では縄文時代後期から晩期の土器が比較的良好な状態でまとまって確認されたことで、この付近に当該期の集落が展開していることが明らかとなった。また、獣骨が一定量出土したことも遺跡の内容を知るうえで重要な資料となった。

坂本谷遺跡

調査概要 遺跡は、出雲平野南西部の標高約 101 m の丘陵に居を構える中世城館・神西城の西麓、標高約 15 ～ 30 m の谷奥緩斜面に位置する。平成 25 年度にトンネル坑口及び盛土施工予定地について試掘調査を実施し、鎌倉～室町期とみられる中世土師器が出土したことから今回の調査に至った。調査面積は約 1,400㎡を測る。現地調査は 10 月 16 日～12 月 22 日の期間、調査員 1 名、調査補助員 2 名で実施した。

基本層序は、①表土 - ②造成土（又は地滑り土） - ③褐灰色系土砂 - ④黒褐色系土砂（中世包含層） - ⑤黄褐色土・砂質土（地山）で、谷地形の窪地には青灰色粘質土が地山の上に堆積する。

遺跡の概要 調査の結果、調査区最上部と最下部の 2 カ所に偏在するかたちでピットを多数検出した。この内、上部ピット群は周辺部の包含層から少量ながら糸切底の土師器が出土していること、また、麓Ⅱ遺跡と同様に平坦面を伴わない傾斜地にあることなどから、通常の建物跡を構成する柱穴ではなく、柵などの防御施設の一部である可能性が考えられる。

一方、下方ピット群は 400 基以上からなり、区画又は排水のための溝も検出している。また、地鎮行為と見られる、底面に砥石と土師器を伏せて埋置した柱穴や勾玉が出土した柱穴も確認した。出土した遺物は、糸切底の土師器が主体で、輸入陶磁器は極めて少ない。出土品を概観したところでは古代末から鎌倉時代の集落跡と見られる。

ま と め 坂本谷遺跡は城跡関連遺構と見られるピット群と、城より以前の集落部分とに分かれることが明らかとなった。特に土器が比較的にまとまって出土している集落跡の時期と建物復元については、今後より詳細な分析・検討が必要である。今回の調査によって、古代末から中世にかけての神西地域の遺跡の様相を知る上で貴重な資料を得ることができたといえる。（勝部智明）



下方柱穴群 遺物出土状況



坂本谷遺跡全景

玉泉寺裏遺跡

玉泉寺裏遺跡は出雲平野の南西、出雲市東神西町字御崎谷に所在する。遺跡の西に九景川遺跡、北東には御崎谷遺跡が存在している。平成17年度には一般県道出雲インター線の建設に伴い出雲市文化財課によって1,825㎡が発掘調査されている。弥生時代末から古墳時代にかけての埋葬施設1基と掘立柱建物跡、土坑、溝状遺構を多数確認し、弥生時代後期から古墳時代後期にかけての遺物が多く出土している。今年度調査区は平成17年度調査区の南東にあたる南側丘陵の尾根に1,105㎡で設定した。調査は平成26年5月28日に開始し、9月5日に終了した。調査体制は調査員1名、嘱託職員1名、調査補助員1名である。

遺構の概要 調査は南側丘陵から派生する尾根筋の1区、丘陵平坦面から谷筋にかけての2区に分けて行った。基本層序は上層から黄橙色土の造成土、褐灰色土の包含層、浅黄橙色土の地山面となる。調査の結果、1区では竪穴建物跡1棟、竪穴遺構1棟、土坑4基、ピット多数を確認した。竪穴建物跡は土層断面の観察から切り合い関係を確認しており、新段階では弥生時代後期の高坏が中央穴から出土している。竪穴遺構は後世の土坑に攪乱されており、出土遺物も希薄で時期は不明である。2区では竪穴建物跡1棟、溝状遺構2条、土坑6基、ピット多数を検出した。竪穴建物跡は隅丸方形に溝がめぐり、使用痕のある台石や弥生時代末の甕が出土している。溝状遺構のうち1条は調査区南側の緩やかな斜面にあり、建物跡に付属する溝が半分残存している可能性がある。土坑のうち調査区西端にある1基は、底面から側面が被熱して硬くなり、炭化物が多く混ざる焼土が堆積していた。時期は不明であるが、奈良時代の遺物が出土する包含層の上から掘り込まれている。ピットは平坦面と谷の斜面からだいたい半数ずつ検出しているが、建物跡の復元は今後検討を要する。包含層からは弥生時代末～古墳時代後期、奈良時代の土器が多く出土している。

まとめ 今年度調査では、出雲平野南麓の丘陵から派生する尾根筋や、尾根から谷にかけての平坦面に弥生時代後期の建物跡を確認することができた。時期の判明した遺構は少ないが、出土遺物の様相は弥生時代後期から古墳時代前期の遺物の出土量が多いことから、平成17年度の調査結果と大きく矛盾しない。古墳時代前期から中期の遺物が多量出土した御崎谷遺跡や九景川遺跡とともに、これらの範囲を同一の集団、集落として再検討するうえで貴重な資料といえ、今後の研究進展が期待される。（人見麻生）



玉泉寺遺跡調査区全景



弥生時代末の甕が出土した竪穴建物跡

九景川遺跡

九景川遺跡は出雲平野の南西、出雲市東神西町字井ノ内に所在する。平成17年度には一般県道出雲インター線の建設に伴い鳥根県教育委員会によって3,600㎡が発掘調査されている。縄文時代から近世に至る複合遺跡で、出雲平野では数少ない古墳時代中期前半の集落跡や小河川における祭祀遺構を検出している。奈良時代から平安時代初期の集落では大型建物を含む多くの掘立柱建物を検出し、鎌倉時代の集落跡では掘立柱建物の他、小規模ながら貝塚を検出している。今年度調査区は、平成17年度調査区の南東にあたる谷奥部から尾根先端部にかけての1,900㎡を設定した。調査は平成26年9月30日に開始し、12月24日に終了した。調査体制は調査員1名、嘱託職員1名、調査補助員1名である。

遺構の概要 基本層序は上層から黄褐色土の表土、黒褐色土～青灰色土の包含層、黄青灰色砂利層の地山面と続く。最も低い調査区西端は標高約9.5mで、谷最奥部である。調査の結果、東側斜面や南側平坦面で、竪穴建物跡2棟や竪穴遺構5基、加工段状遺構4基、溝状遺構4条、多数のピットを確認した。竪穴建物跡は、古墳時代中期～後期のものが2棟あり、須恵器坏身、土師器の小型丸底壺、土師器坏などが出土している。1棟は壁帯溝を伴い、金属製品を研磨する際に使用したと考えられる砥石や焼土溜まり、小規模な鍛冶炉を検出している。ほぼ同じ位置で重複関係があることから、時期を空けずに建て替えられたと思われる。また、溝状に検出した遺構のうち2条は残存状況から竪穴建物跡と考えられ、奈良時代後半～平安時代の須恵器坏・蓋がまとまって出土している。加工段状遺構は柱穴や遺物を伴わないものが多いが、移動式竈や土師器甕が出土するものもあり、竪穴建物跡の可能性もある。包含層からは碧玉製勾玉の未成品や結晶片岩製勾玉、耳環、また弥生時代後期～近世までの土器が出土している。特に古墳時代中期～後期、奈良時代後半の土器が多い。

まとめ 今年度調査では丘陵の尾根から谷奥にかけての斜面や平坦面に、古墳時代中期～後期、奈良時代後半～平安時代の集落跡を確認することができた。平成17年度調査結果からも裏付けられるように、それぞれ比較的短期間に集落が営まれたと考えられる。奈良時代から平安時代初期は谷部の遺構が最も密に認められる時期であり、丘陵部にも建物群が展開していたと考えられる。勾玉2点の出土は出雲西部地域では例が少なく、玉の流通と出雲西部地域の集落との関係を考える上で貴重な資料となった。

(人見麻生)



玉泉寺遺跡調査区全景



古墳時代中期～後期の竪穴建物跡

2. 一般国道9号（朝山大田道路）改築工事に伴う発掘調査

事業概要 この調査は国土交通省から委託を受けて平成22年度から実施している。今年度は大田市久手町の中尾H遺跡（4区）、門遺跡（2区）、城ヶ谷遺跡、涼見E遺跡、神谷遺跡、大西大師山遺跡、同市波根町の高原遺跡（3区）の発掘調査を実施した。

中尾H遺跡（4区）

本遺跡は大田市久手町刺鹿に所在する。江谷川支流の市井川が形成した谷の中程に位置する。遺跡の主要部分4,320㎡は平成22年度に調査し、高圧線鉄塔の移転先254㎡は平成25年度に調査した。今年度は高圧線鉄塔の跡地240㎡を、平成26年8月11日から10月1日まで、調査員1名、嘱託職員1名、調査補助員1名の体制で調査した。

遺跡の概要 調査区内には4箇所の鉄塔基礎があり、その周りでは遺跡が損失していた。しかし、その他の箇所では良好に遺跡が残存しており、縄文時代から古代の遺物包含層や河道跡を確認できた。注目すべき遺物に尖頭器と木簡がある。

まとめ 尖頭器を確認できたことから、この地域での人間の活動が縄文時代草創期あるいは後期旧石器時代まで遡ることがわかった。（是田 敦）



遺跡位置図（石見大田 1/50,000）



尖頭器の出土状況

門遺跡（2区）

本遺跡は大田市久手町刺鹿に所在する。中尾H遺跡の東側、谷の入口部分に位置する。主要部分856㎡は平成23年度に調査した。今年度は高圧線鉄塔の跡地180㎡を、平成26年10月1日から10月30日まで、調査員1名、嘱託職員1名、調査補助員1名の体制で調査した。

遺跡の概要 調査区には2箇所の鉄塔基礎があり、その周辺では遺跡が損失していた。しかし、その他の箇所では良好に残存しており、弥生時代から古代の遺物包含層や遺構を確認できた。遺構は古代の溝を3条確認した。このうち1条は加工段の縁辺と考えられる。柱穴と考えられるピットは確認できなかった。

まとめ 今回の調査では平成23年度の調査で確認した加工段と時期が近い遺構を確認したことにより、この地域に営まれた古代の集落の広がり推定する資料を得ることができた。（是田 敦）



門遺跡（2区）完掘状況

城ヶ谷遺跡

城ヶ谷遺跡は大田市久手町刺鹿の、西に開口している谷と、東の丘陵部にかけて広がる遺跡である。平成26年8月6日から12月26日まで、調査員1名、調査補助員2名の体制で3,500㎡の本調査を実施した。**近代窯業に関連する遺構** 新古2段階の連房式登り窯を確認した。新段階の窯は地表に露出しており、一部で焼成室の出入り口上部が残存していた。規模は、全長16.0m、幅は3.7～4.4mであり、焼成室が8室ある。各焼成室内部では、瓦窯の特徴である、耐火煉瓦を階段状に積み上げた構造が確認された。瓦を重ね焼きする際に用いる窯道具も多数出土し、主要な生産品が瓦であることが判明した。瓦窯の操業終了年代は、地元での聞き取りから昭和25年前後である。

この瓦窯の断ち割りを行ったところ、下層に古い段階の登り窯があることが判明した。規模は、全長16.0m、幅は4.0～4.5mである。焚口部分のほかに焼成室が7室ある。各焼成室は床面がほぼ平坦であり、陶器を焼成する構造となっていた。窯の東に形成された物原からの出土遺物は、瓦が大多数を占めたが、一部で壺・ほうろく・茶碗等の布志名焼に類似する陶器や、陶器用の窯道具が集中的に出土している。他に、「昭和十一年」の紀年をもつ墓碑が出土している。

登り窯の上方に位置する平坦面では建物の礎石列が確認された。礎石列は調査範囲外へも続いており、複数棟の建物が建っていたことがわかる。地元での聞き取りによれば、これらの建物では瓦の成形、乾燥等の作業が行われていたという。

古代、中世の遺構、遺物 後世の地形改変を受けていない調査区北端では、古墳時代後期の建物跡が3棟確認された。3棟とも、山側に向かって中央からやや偏した位置に竈を付設しており、この竈の床面は顕著に被熱変色している。うち1棟はほぼ原位置に竈の構築材に使われた石が残っており、ピットが1基認められたが、他の2棟も含め柱穴と判断できるものは検出されなかった。遺物は須恵器の坏、土師器の甕、甑、土製支脚等が出土している。

調査区南側では、水田面下の包含層から戦国期と見られる青磁、青花や鉄滓等が出土し、その下の遺構面では溝状遺構3条、ピット12を検出した。

まとめ 城ヶ谷遺跡は大田市内で初めての近代窯業遺跡の発掘調査となった。物原からは瓦、陶器の両方が出土しているが、陶器から瓦窯への推移が発掘調査によって確認された貴重な資料となった。また、石見部海岸地帯における造付け竈を伴った古墳時代の住居跡の調査例は、市内の市井深田遺跡、江津市の高津遺跡につぐ。造付け竈は他地域からの影響が指摘されており、当地域の生活や他地域との交流を検討する上で重要な資料となった。

(久保田一郎)



瓦窯跡



堅穴建物

神谷遺跡

神谷遺跡は大田市久手町波根西の、中国山地からのびる低丘陵の北端近く、北北東—南南西方向の細長い尾根の北向き緩斜面の中腹、標高38～43 mに位置する。平成25年度に行った試掘調査では、トレンチの一つで炭窯の煙道付近を確認した。今年度は、このトレンチを中心として、緩斜面部分320㎡について、平成26年5月23日から8月11日まで、調査員1名、調査補助員2名の体制で本調査を実施した。

遺跡の概要 横口付炭窯4基を確認した。谷奥に1号窯、その手前（東側）にほぼ同じ高さで2号窯が並ぶ。1号窯は焚き口が西端につき、2号窯は東端につく。斜面の1～2 m下方に3号窯、4号窯（4号窯の焚き口部分は調査範囲外）が並んで構築されている。4基の構築順は、斜面上方の1、2号が新しく斜面下方の3、4号が古いとみられる。1号窯の焚き口近くには、操業時、焚き口の閉塞に用いられたとみられる石が、積まれた状態で確認された。石積みの中から出土した須恵器の高杯の破片から、1号窯の操業年代は7世紀頃と考えられる。

遺物包含層は大きく上層と下層に分かれ、上層は古代から近世にかけての遺物、下層は古墳時代後期から奈良時代の遺物を含む。4基の炭窯は、これら包含層の下の地山面で検出された。また、2号窯では崩落した天井に掘り込まれた土坑から、奈良時代頃の土師器の甕と鉢が出土した。鉢・甕ともにほぼ完形で、鉢の内部にやや小さい甕を入れ子にし、正位に置かれた状態であった。天井の崩落、操業停止の後地鎮の目的で埋納された可能性が考えられる。

各窯の規模は下記の通りである。

1号炭窯 焼成部長6m 幅0.8m 横口5 2号炭窯 焼成部長6m 幅0.8m 横口6

3号炭窯 焼成部長9m 幅0.8m 横口10 4号炭窯 焼成部長6m以上 幅0.8m 横口6以上

ま と め 横口付炭窯は、これ以前に島根県内で4遺跡6基が確認されているが、いずれも出雲部の宍道湖沿岸であり、石見部では最初の発見例となった。横口付炭窯は製鉄との密接な関係が指摘されていることから、当遺跡周辺で鉄生産が行われていた可能性も高くなり、古代の大田地域における生産活動を考えるうえで不可欠な資料となった。

(久保田一郎)



1号窯



2号窯、3号窯

大西大師山遺跡

大西大師山遺跡は大田市久手町波根西に所在し、北に旧波根湖、その先には日本海を望む標高約70 mの丘陵に立地する。丘陵の南東～南西斜面は凝灰岩の岩盤が露出しており、遺構はこの岩盤に構築される。平成26年6月2日から平成27年1月15日まで、調査員1名、調査補助員1名の体制で4,000㎡の調査を実施した。

遺跡の概要 横穴墓10基と石切場を検出した。横穴墓は南西斜面に1基、ほかは南東斜面に存在する。南西斜面のものは石切場の清掃中に検出され、採石によって天井、側壁及び玄門の一部が破壊されていた。南東斜面の9基は標高や位置の違いから3つの群にまとまる。また、このうち1基は前庭部のみを掘削した未完成のものと見られる。

玄室の平面形はほぼ正方形となるものがほとんどで、規模は最大で幅3.3 m・奥行2.6 m・高さ1.3 m、最小で幅1.9 m・奥行1.9 m・高さ1.0 mである。天井形態はドーム形となる。玄室内の施設では、有縁屍床をもつものが1基ある。玄門には閉塞用の刳込みをもつものが多く、玄門下部には閉塞に使用した石材の一部が残存しているものもあった。また、前庭部には排水溝をもつものが多い。なお、玄室内から古代の須恵器や中世の土師器が出土した横穴墓があり、これらは比較的早い時期に開口し、長期にわたって玄室内に人が出入りしたことがうかがえる。

石切場は、南西斜面で4カ所が確認された。凝灰岩を採掘しながら下へ掘り進み、最大のものは床面が約14 m×10 m、掘り込んだ深さは12 mに達する。採掘の痕跡から、人力により直方体の石材を切り出していることがわかる。地元での聞き取りなどから明治～大正時代に操業し、近隣に家屋の建築基礎材として出荷していたものとみられる。

遺物の概要 横穴墓からは蓋環などの須恵器、刀子・鉄鏃・耳環・大刀といった金属製品のほか、管玉・小玉など玉類、石製の紡錘車も1点出土した。蓋環には出雲地方に通有なものと、それとは異なる器形・調整をもつものがあり、後者は石見地方で生産されたものであろう。なお、人骨・歯牙は検出できなかった。

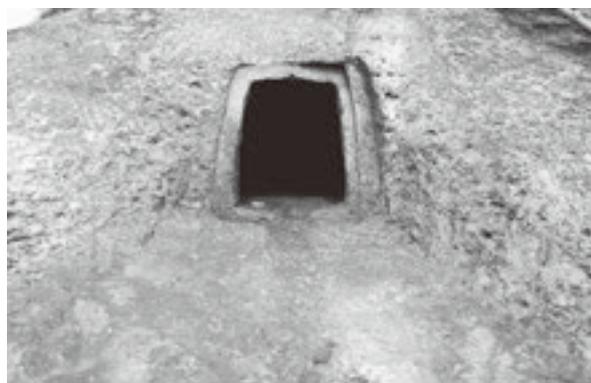
遺構に伴わない遺物では、須恵器・土師器・土製支脚のほか局部磨製石斧が出土している。

まとめ 横穴墓は岩盤に掘られており、築造時の状況を良く残すことから、当地域の6世紀後半から7世紀初頭の横穴墓の構造を解明する良好な資料となった。石切場の調査では、文献による記録が不明確な中、当時の産業や採掘技術の一端を明らかにすることができた。

(宮本正保)



遺跡近景（東から）



2号横穴墓

涼見 E 遺跡

本遺跡は中国山地からのびる低丘陵の東西方向の尾根頂部の西端、標高 56 m に位置する。平成 25 年度に実施した試掘調査で、マウンド 2 基の間に溝が切られているのを確認した。また、マウンドに貼り付いた状態の石、転落したと見られる石多数を確認したことから墳墓が存在すると予想されたため、今年度本調査を実施した。調査範囲は、道路工事による現地形の切削が及ぶ範囲内の 140㎡とし、6 月 18 日から 8 月 21 日まで、調査員 1 名、調査補助員 2 名の体制で調査した。

遺跡の概要 東西 2 基のマウンドを調査した。西側のマウンド（1 号墳）は不規則な形状で、墳端ラインは確定しにくい。頂部に石の集積が認められ精査を行ったが、主体部は確認されなかった。東辺に貼り石が列状に認められた。東側のマウンドは（2 号墳）、西辺と北辺に貼り石が列状に認められた。貼り石の直上の高さから黄褐色の盛り土が認められた。転落した石の間から小型丸底壺が出土しており、古墳の築造時期は古墳時代前期末～中期初め頃と考えられる。

ま と め 2 号墳は、2 辺の貼石、盛り土の存在から、確実な古墳とみられる。1 号墳は、主体部が確認できなかったが、石列の存在から古墳であった可能性は否定できない。大田市内では古墳が少数しか確認されていなかったが、今回の調査で、明らかに横穴よりも古い時期に古墳が築造されていたことが判明し、当該時期の墓制を検討するうえで不可欠な資料となった。（久保田一郎）



涼見 E 遺跡全景

高原遺跡（3 区）

本遺跡は大田市波根町上川内に所在する。波根川とその支流が形成した谷部に位置する。平成 23 年度に 1 区（420㎡）を調査し、平成 24 年度に 2 区（2,500㎡）を調査した。今年度は 2 区の南側 1,080㎡を、平成 26 年 6 月 2 日から 8 月 21 日まで、調査員 1 名、嘱託職員 1 名、調査補助員 1 名の体制で調査した。

遺跡の概要 調査地は緩斜面と斜面に分かれる。緩斜面では古墳時代から近世まで遺物包含層と掘立柱建物跡 3 棟を確認した。掘立柱建物跡の詳細な時期は不明であるが、遺物包含層の出土遺物から中近世以前の遺構と考えられる。斜面では、16 世紀後半と考えられる 3 セット分の宝篋印塔の部材と 2 セット分の五輪塔の部材を採取した。また付近には石塔と関連すると考えられる基壇を確認した。この基壇には石が貼付されているが、墓穴がないことから、供養塔の基壇であると考えられる。

ま と め 緩斜面で中近世以前の掘立柱建物跡を確認したことから、周辺の旭山城跡、旭山遺跡などと併せ、当地が中近世以前に主要な拠点であったことがわかった。また、斜面の調査では当該時期の出土例が少ない石塔の資料を得ることができた。（是田 敦）



高原遺跡（3 区）出土の石塔

3. 一般国道9号（静岡仁摩道路）改築工事に伴う発掘調査

事業概要 この調査は、国土交通省から委託を受けて実施している。今年度は昨年度に引き続き大田市仁摩町所在の古屋敷遺跡の発掘調査を実施した。

古屋敷遺跡

本遺跡は大田市仁摩町を流れる潮川の下流域に広がる沖積平野に位置する。調査前の標高は約9mである。現地調査は平成26年5月27日から平成27年1月30日まで、調査員3名、調査補助員5名の体制で実施した。今年度の調査範囲は、昨年度調査区に隣接するC区・D区・F区計約4,100㎡及びE区約100㎡である。

調査概要 今年度の調査では、縄文時代後期から弥生時代前期初頭の遺構面を計8面を確認し

た。最も新しい遺構面は弥生前期であるが、昨年度検出した水田遺構は、確認できなかった。縄文時代晩期の遺構面は少なくとも5面あり、200ヶ所以上の地床炉（火処）が検出された。これらはわずかなレベル差をもって重複して検出される事が多く、それぞれに時期差があることは明らかであるが、連続する遺構面として把握できないことも多かった。またピット群や貯蔵穴、配石なども検出しており、縄文時代晩期を中心に永らく人々が生活していたことがうかがわれる。

晩期末の遺構面では、昨年度に続きあらたに木棺墓を1基検出した。長さ約130cm、幅約80cm、深さ約30cmの土坑内に、杉板材を用いて長さ約110cm、幅約50cm、高さ約30cmの木棺を組んでおり、要所に打ち込まれた杭により固定されている。木棺外の埋土から管玉1点が出土している。調査区東側の河岸部分では、水さらし場遺構を検出した。自然木を利用した木枠を伴う湿地型の貯蔵穴と考えられ、湧水点に設置されている。木枠内からはトチやクルミの実が多数出土しており、実を水漬けにし、虫殺しや種皮をふやかすための施設と考えられる。

縄文時代後期の遺構面では、ピット群や土坑などが検出されたが、地床炉は皆無であった。

特徴的な遺物として、昨年度に続き彩文土器が出土したほか、漆塗り櫛2点が出土している。

まとめ 古屋敷遺跡では、縄文時代晩期を中心とする多数の遺構・遺物が確認され、この地に断続的に集落が営まれていたことが明らかとなった。縄文時代晩期の木棺墓や水さらし場遺構は山陰地域に類例がなく、貴重な発見と言える。また、東日本の土器の影響が想定される彩文土器が出土するなど、日本海を介して列島各地との幅広い交流があったことが想定される。

（林健亮・増田浩太）



古屋敷遺跡の位置 (S=1/50,000 温泉津)



縄文時代晩期の木棺墓



漆塗り櫛出土状況

4. 国道 432 号改築事業（大庭バイパス）に伴う埋蔵文化財発掘調査

調査概要 この調査は、県土木部道路建設課から依頼を受けて平成 20 年度から実施しており、今年度で 7 年目となる。今年度は、川原宮Ⅱ遺跡の調査を現地調査期間 6 月 9 日～12 月 25 日、調査面積 2,500㎡、調査員 1 名、調査補助員 2 名の体制で実施した。

川原宮Ⅱ遺跡

川原宮Ⅱ遺跡は、松江市大庭町に所在し、国史跡出雲国山代郷正倉跡の南西側にある浅い解析谷に位置している。近年は、圃場整備された水田地帯となっている。今回の発掘調査では、南北方向に流れる河川の流路 1 本と、中世の粘土採掘坑が多数検出された。

遺構の概要 粘土採掘坑は 300 基を超え、各遺

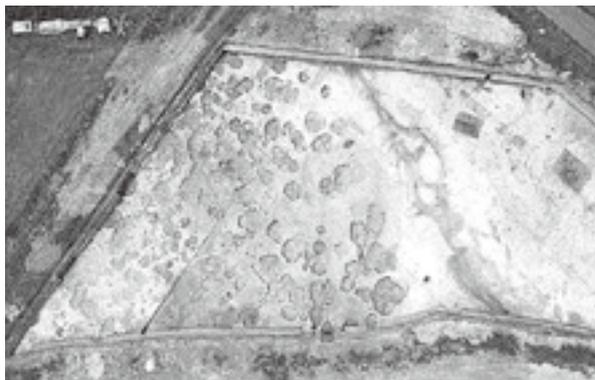
構の規模は、大は直径 3 m 程度から小は直径数十 cm まで様々に掘込まれた土坑群である。平面形は、円形もしくは楕円形を呈し、断面形は、ほぼすべて砲弾状あるいは逆ドーム状を呈する。これらの採掘坑は、白い粘土を狙って穿たれたものである。採掘を開始した時代には、これらの上に形成された黒色系の粘土層（遺物包含層）もすでに相当程度堆積していたものと考えられ、黒い粘土層の下にある白い粘土層を探りながら採掘していたことが考えられる。よって、ほとんどの採掘坑に切り合いがあり、必ず先に掘った穴に架けて次の採掘を行ったのであろう。採掘した白い粘土は窯業に用いられた可能性が高い。

遺物の概要 採掘坑からは、中世前期の土師器碗・皿、北宋銭などの古銭が出土した。土師器碗皿の中には採掘坑埋土中に正置しているものや、折り重なって横立しているものが検出された。このような出土状況は、採掘坑の時期を示していると考えられ、仕事始めや地鎮めなどの祭祀的行為に伴うものと考えられる。包含層からは、奈良時代の須恵器が最も多く出土した。また、金属製の仏具の破片（蓋）や古代瓦、硯（須恵器）など寺院・官衙に関わる遺物が出土している。さらに、土馬が数体出土している。写真のものは牡馬（体長 17.5cm、残存高 13cm）である。

まとめ 川原宮Ⅱ遺跡では、粘土採掘坑と考えられる中世の生業に関わる遺構が多数検出された。時代は違うが、白い粘土の採取を目的とした採掘坑は、当遺跡の東方、意宇平野の北側丘陵裾部の水田地帯の遺跡でも確認される。また、遺物包含層からは、古墳時代から近世の比較的多様でやや珍奇な遺物も出土しており、山代二子塚をはじめとする大きな古墳、来美麿寺などの古代寺院、官衙遺構が多く残り、中世にかけて繁栄したこの地域の様相を反映している遺跡と言える。（大庭俊次）



川原宮Ⅱ遺跡位置図（1/25,000 松江）



粘土採掘坑



土馬

5. 一般県道矢尾今市線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査

調査概要 この調査は、県土木部道路建設課から依頼を受けて、高浜 I 遺跡の調査を現地調査期間 5 月 26 日～10 月 10 日、調査面積 1,600 m² で調査員 1 名、調査補助員 1 名の体制で実施した。

高浜 I 遺跡

高浜 I 遺跡は県道斐川・出雲大社線の北側から一畑電鉄大社線の南側にかけて広範囲に広がる遺跡であり、今回の調査箇所は現在の県道矢尾今市線から市道高浜 97 号線までの間に存在する宅地跡と水田部分である。

調査の結果、建物跡を含む多数の柱穴群と火葬に使用したとみられる土坑（S X 01）及び墓、大溝（S D 02）、井戸跡、自然河道等を検出した。柱穴は径、深さとも 1 m 前後の大型なものが多数検出されたが、建物跡として確認できたものは僅か 6 棟であった。出土遺物から 16 世紀～17 世紀を中心とする建物跡と考えられる。S X 01 は調査区北寄りで検出したもので、平面形態は隅丸の長方形状を呈し、長軸 90cm、短軸 70cm、深さは 17cm しか残存していなかった。北辺と南辺の一部が焼土化しており、内部には多量の炭、焼土とともに骨片が少量残存していたことから、墓そのものではなく火葬に使用された遺構と推測される。時期については覆土出土土器から 16 世紀頃と考えられる。ただし、この火葬骨を埋葬した墓については調査区内では確認されていない。S D 02 は調査区西側で南北方向に延びる状況で確認したが、北側は調査区の途中で途切れており、ここが溝の北端と考えられる。確認できた規模は長さ 22 m、幅 4 m、深さ 90cm を測り、覆土中から 17 世紀前後の陶磁器類と漆器椀が出土している。北端の状況を観察すると東に向かって幅 3.5 m、深さ 20cm の浅い溝が付随しており、調査区南寄りにも同様の溝が存在することから、これらの溝を一連のものとして捉えれば「コ」の字状もしくは「ロ」の字状に廻っていたことも考えられる。そうであれば溝で囲われた部分は建物が集中する地点であることから、建物内外を区画する溝であった可能性が高い。

まとめ 平成 21・22 年度の調査では有力者の居館跡と考えられる大規模な建物跡や将棋盤などの特殊な遺物が出土しており、今回の調査でも同様な状況が想定された。特殊な遺物は認められなかったが、前回ほどではないとしても比較的大規模な建物跡は存在し、それらを区画するために造られたと考えられる大溝も構築されていた。このことは、何らかの計画性に基づいて形成された集落と考えられ、有力者層を中心とした町のような様相が推測される。
(今岡一三)



高浜 I 遺跡位置図



建物跡と多数の柱穴郡



SX01 完掘状況

6. 学術調査等

(1) 風土記の丘地内遺跡調査

東百塚山古墳群

調査概要 この調査は、当古墳群の全体像を把握するための補足測量調査と、古墳群の築造開始時期を確認するために一部古墳の発掘調査を実施したものである。

測量調査は4月30日～6月6日にかけて実施し、発掘調査は11月18日～2月13日にかけて実施した。調査面積は約60㎡である。

遺跡の概要 県指定史跡東百塚山古墳群は、松江市大草町に所在する。意宇平野を北側に臨む大草丘陵（標高30～90m）に広がる大草丘陵古墳群の中に存在し、標高72mの丘陵頂部から南北両側斜面に141基以上の古墳群が展開している。発掘調査は、尾根頂部に築造された71号墳、63～65号墳及び測量調査で四隅突出型墳丘墓である可能性が指摘されていた20号墓について実施した。

71号墳は、かつて盗掘を受けており墳頂部から北側斜面にかけて大規模な盗掘坑が見られる。今回は、埋葬施設や副葬品の残存状況を確認するため盗掘坑の清掃と一部墳丘の断ち割りを行った。結果的には埋葬施設は確認できなかったが墳丘の約2/3は盛土で構築されていることが判明した。

65・64・63号墳は尾根上に接続して造られた方墳である。64-65号墳間トレンチでは、南側の65号墳が地山削り出し、北側の64号墳が盛土で構築されたことが判明したほか、64号墳墳裾で5世紀後葉の須恵器高杯1・甕1・土師器高杯3個体がほぼ原位置の状態で見つかっている。

20号墓は、四隅突出型墳丘墓の可能性を判断するために北東部突出部の南側基部に1トレンチを設定し調査を開始したところ、墳丘裾部の貼石、敷石・立石列を検出した。地表からの観察では、南側の2つの隅部について明瞭な突出部が確認できないことから、2トレンチを南東隅部に設定して調査したところ、東辺の貼石、敷石・立石列の延長が確認されたが突出部は確認できなかった。このことから20号墓の墳丘南端は5世紀～6世紀前半に築造された22・23号墳の墳丘下に埋没している可能性が考えられた。

遺物の概要 出土遺物は、須恵器・土師器・埴輪・弥生土器などである。

まとめ 20号墓の調査により、弥生時代後期後葉から墓域として使用されていることが確認された。古墳時代では、須恵器出現後に1号墳、71号墳、64・65号墳が築造されるが、古墳時代前期の造墓活動の状況は不鮮明である。また、71号墳の盗掘排土や墳丘下の旧表土層から、弥生時代後期の土器が出土していることから、弥生時代後期の集落遺跡、墳墓が同丘陵上に存在していることが明らかとなった。

(岩橋孝典)



64号墳南側裾の出土状況



20号墓東裾の列石の状況



東百塚山古墳群の位置 (S=1/25,000 松江)

(2) 考古資料基礎調査研究（墓制調査事業）

上竹矢7号墳

調査概要 この調査は、島根県古代文化センターと島根県埋蔵文化財調査センターが「考古資料基礎調査研究（墓制調査）」事業の一環として実施した。

発掘調査は9月1日から開始し11月29日に終了した。調査面積は100㎡である。

遺跡の概要 上竹矢7号墳は松江市竹矢町の上竹矢古墳群に属し、全長64mの前方後円墳と推定されていた。これまで発掘調査歴はなく、詳細が不明であったため墳丘各所に合計7か所のトレンチを掘削し調査を行った。

後円部で掘削した第1トレンチでは、約1mの厚みを持つ盛り土と墓壇の掘方とみられる落ち込みを土層断面で確認した。また、円筒埴輪が1点出土したが、磨滅した小片であったため時期等の詳細は明らかではない。前方部の墳丘主軸ライン上に設定した第3トレンチでは墳丘の盛土を検出した。トレンチ東端付近は旧表土上に盛土が積まれていたが、トレンチ中ほどより西では旧表土を確認できなかった。地山を削平し整地したのち盛土を施した可能性が高い。地形上の墳端付近では尾根を切断するように地山を溝状にカットしていることから、この部分が前方部の西側の墳端であったと考えられる。墳丘部表土・流土中より布目瓦や須恵器片が出土している。

前方部南側に設定した第5トレンチではトレンチ北端から南へ約3.2m付近で地山をカットする落ち込みを確認した。トレンチ北端付近では盛土を確認した。盛土の厚さはトレンチ北端部が最も厚く約0.8mであった。

まとめ 今回の調査では各トレンチで墳端の可能性が高い落ち込み状の地形を確認できたことから、墳丘形状や規模復元のための資料を得られたことは大きな成果であった。また、墳丘平坦面については1m前後の盛土がなされる一方、斜面部分については薄い盛土が施されるか、削り出しによって墳丘が構築されていることが確認できた。

(神柱靖彦)



上竹矢7号墳の位置 (S=1/25,000 松江)



上竹矢7号墳遠景



第5トレンチ土層堆積状況

東淵寺古墳

調査概要 この調査は、島根県古代文化センターと島根県埋蔵文化財調査センターが「考古資料基礎調査研究（墓制調査）」事業の一環として実施した。

発掘調査は12月1日から開始し12月19日に終了した。調査面積は20㎡である。

遺跡の概要 東淵寺古墳は松江市大庭町に位置し、全長62mの前方後円墳と推定されている。今年度の発掘調査は、前方部の残存状況の確認を目的として、昨年度までの調査位置から北側に位置する残丘状の高まりの部分で調査を行った。



東淵寺古墳の位置 (S=1/25,000 松江)

3か所で小規模なトレンチを設定し調査を行ったが、このうち最も北側に設定したトレンチのマンガンバンド上で地山を確認した。盛土は確認できず、前方部が存在した場合には先端部が地山削り出しで構築されていた可能性が高いと推定される。その他のトレンチにおいては、後世の造成土が分厚く堆積していることが確認された。(神柱靖彦)

(3) 考古資料基礎調査研究（出土品再整理事業）

当事業は、過去に県教育委員会が発掘調査を実施して現在当センターで収蔵している出土品のうち、報告書非掲載遺物を中心に再整理を実施してその内容を明らかにするとともに、市民が容易に利用できるようデータベース化をはかることを目的として実施しており、今年度が3年目となる。

今年度は、昨年度に引き続き、松江市意宇平野の集落遺跡の解明を目的として、布田遺跡、上小紋遺跡、向小紋遺跡、神田遺跡、四配田遺跡の出土遺物再整理を行った。出土品については、過去の出土品総てを対象として細片一片に至るまで種別・時代別に再分類し、重量を計測して定量的把握を行うとともに、写真撮影を実施し、データベースを作成した。また、非掲載遺物でも重要と思われる資料については実測を行った。また、将来的な展示に備えて土器の復元作業も併せて行っている。

今年度の整理作業の結果、布田遺跡（1980・81年度調査分）、上小紋遺跡、向小紋遺跡、神田遺跡、四配田遺跡の資料については、全遺物について定量的分析が完了し、遺跡の時期別推移を定量的に把握することができた。その結果、布田遺跡は弥生時代前期後半から中期中葉を中心として長期間継続する集落であることが再確認された。布敷遺跡、上小紋遺跡、向小紋遺跡では弥生時代後期初頭の水田が確認されており、後期には意宇平野の各所に集落が散開することが推察される。東百塚山20号墓が弥生時代後期後葉に築造された四隅突出型墳丘墓であることが判明し、弥生時代の各期間にわたって意宇平野の開発が進められたことも推察される。

非掲載遺物中からは分銅型土製品、玉作関連遺物をはじめとする重要遺物を確認することができた。今回の検討の結果、意宇平野における遺跡動態が一層明確となり、当地の歴史展開を考える上で重要な知見を得ることができた。

(岩橋孝典)

(4) 保存処理・理化学分析

遺跡から発掘された遺物の多くが、木製品は水漬けパック、金属製品が酸化防止システムでのパックという状態で「仮保管」されている。「仮保管」では遺物の劣化が進みやすく、展示などの活用が制限されてしまうため、これらの問題を解消するために年間を通して継続的に作業を進めている。水漬け木製品は、遺物の状態によってポリエチレングリコール（PEG）と糖アルコールでの保存処理を使い分けている。自然乾燥してしまった木製品はアクリル樹脂を塗布、又は含浸することで強化し遺物の形状を維持する。金属製品はクリーニング、脱塩、アクリル樹脂の減圧含浸による防錆・強化を行なっている。処理後の遺物は温湿度管理下において保管している。上記以外の材質の遺物も、脆弱なものに対して随時、処置を施す。

赤外線観察・X線撮影・蛍光X線分析に関しては、調査現場、報告書撮影、保存処理での活用のほかに、市町村教育委員会・大学等を対象とした撮影・分析も行なっている。

平成 26 年度 作業実績

出土遺物の保存処理は、未処理または、一度保存処理を施されているが状態が悪化したものについて、表 1・2 のとおり実施した。保存状態や活用機会の可能性を考慮して、保存処理計画を作成するとともに、古代出雲歴史博物館の展覧会や外部機関への貸し出しに対応するために、随時計画を調整して保存処理を進めている。そのほか、発掘現場での作業として、古屋敷遺跡で脆弱な木製品の取り上げを実施した。

理化学分析は表 3～5 のとおり実施した。これらの分析結果は報告書作成等に反映された。

(澤田正明・上山晶子)

① 保存処理業務実績

表 1 木製品

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況
国道 9 号線バイパス建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書 6 (1989)				
夫敷	38 図-1	鋤柄	アクリル樹脂塗布	処理中
夫敷	38 図-2	ヘラ状製品	トレハロース含浸	完了
夫敷	38 図-3	部材等	アクリル樹脂塗布	処理中
夫敷	38 図-4	容器底板	ラクチトール含浸	処理中
夫敷	38 図-5	組合せ式箱	ラクチトール含浸	処理中
夫敷	38 図-6	組合せ式箱	ラクチトール含浸	処理中
夫敷	38 図-7	組合せ式箱	ラクチトール含浸	処理中
夫敷	38 図-8	組合せ式箱	ラクチトール含浸	処理中
一般国道 9 号松江道路建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書 10 (1992)				
中竹矢	32 図-42	高坏	トレハロース含浸	完了
中竹矢	32 図-43	板状製品	トレハロース含浸	完了
中竹矢	非掲載-1	部材等	トレハロース含浸	完了
中竹矢	非掲載-2	杭	アクリル樹脂塗布	完了
一般国道 9 号 (安来道路) 建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書 8 (1996)				
岩屋口南	131 図-1	舟形木製品	アクリル樹脂塗布	処理中
岩屋口南	131 図-2	田下駄	アクリル樹脂塗布	処理中
一般国道 9 号 (安来道路) 建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書 14 (1998)				
門生黒谷Ⅱ	91 図-1	刳物桶	ラクチトール含浸	処理中
門生黒谷Ⅱ	91 図-2	刳物桶	ラクチトール含浸	処理中
門生黒谷Ⅱ	91 図-3	刳物桶	ラクチトール含浸	処理中

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況
一般国道 9 号 (安来道路) 建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書西地区 8 (1997)				
鶴貫	13 図-1	火鑽白	トレハロース含浸	完了
鶴貫	13 図-2	木鎌	トレハロース含浸	完了
鶴貫	13 図-3	曲物底板	トレハロース含浸	完了
鶴貫	14 図-4	板状	ラクチトール含浸	処理中
鶴貫	14 図-5	板状	ラクチトール含浸	処理中
鶴貫	14 図-6	板状	ラクチトール含浸	処理中
鶴貫	14 図-7	板状	ラクチトール含浸	処理中
鶴貫	14 図-8	板状	ラクチトール含浸	処理中
鶴貫	14 図-9	板状	ラクチトール含浸	処理中
鶴貫	14 図-10	板状	ラクチトール含浸	処理中
鶴貫	14 図-11	板状	ラクチトール含浸	処理中
鶴貫	15 図-12	板状	ラクチトール含浸	処理中
鶴貫	15 図-13	板状	ラクチトール含浸	処理中
鶴貫	15 図-14	ナスビ形鋤	ラクチトール含浸	処理中
鶴貫	15 図-15	ナスビ形鋤	ラクチトール含浸	処理中
鶴貫	15 図-16	板状	ラクチトール含浸	処理中
鶴貫	15 図-17	板状	ラクチトール含浸	処理中
鶴貫	16 図-18	板状	ラクチトール含浸	処理中
鶴貫	16 図-19	棒状	ラクチトール含浸	処理中
鶴貫	16 図-20	板状	ラクチトール含浸	処理中
鶴貫	16 図-21	板状	ラクチトール含浸	処理中
鶴貫	16 図-22	板状	トレハロース含浸	完了
鶴貫	16 図-23	板状	ラクチトール含浸	処理中

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況
一般国道9号仁摩温泉津道路建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書2(2009)				
五丁	23図-7	不明木製品	トレハロース含浸	処理中
一般国道9号(益田道路)建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書4(2007)				
浜寄・地方	13図-1	漆碗	トレハロース含浸	完了
浜寄・地方	13図-2	人形	トレハロース含浸	完了
浜寄・地方	121図-1	鎌?	トレハロース含浸	完了
朝酌川河川改修工事に伴う西川津遺跡発掘調査報告書Ⅳ(海崎地区2)(1988)				
西川津	149図-205	柱	ラクチール含浸	処理中
朝酌川河川改修工事に伴うタテチョウ遺跡発掘調査報告書Ⅲ(1990)				
タテチョウ	203図-W327	曲物	トレハロース含浸	処理中
タテチョウ	203図-W328	曲物	トレハロース含浸	処理中
タテチョウ	203図-W329	曲物	アクリル樹脂塗布	処理中
タテチョウ	203図-W330	曲物	トレハロース含浸	処理中
タテチョウ	203図-W331	曲物	トレハロース含浸	処理中
タテチョウ	203図-W332	曲物	トレハロース含浸	処理中
タテチョウ	203図-W333	曲物	トレハロース含浸	処理中
タテチョウ	203図-W334	折敷縁	トレハロース含浸	処理中
タテチョウ	203図-W335	折敷縁	トレハロース含浸	処理中
タテチョウ	203図-W336	曲物	トレハロース含浸	処理中
タテチョウ	203図-W337	折敷底板	トレハロース含浸	処理中
タテチョウ	203図-W338	折敷底板	トレハロース含浸	処理中
タテチョウ	204図-W339	方形曲物	トレハロース含浸	処理中
タテチョウ	223図-W431	ヒョウタン	トレハロース含浸	完了
タテチョウ	223図-W432	ヒョウタン	トレハロース含浸	完了
タテチョウ	223図-W433	椰子の実	トレハロース含浸	完了
タテチョウ	223図-W434	桜皮	トレハロース含浸	処理中
タテチョウ	223図-W435	桜皮	トレハロース含浸	処理中
朝酌川河川改修工事に伴うタテチョウ遺跡発掘調査報告書Ⅳ(1992)				
タテチョウ	94図-W38	容器形製品	アクリル樹脂塗布	処理中
タテチョウ	94図-W39	アカトリ状製品	トレハロース含浸	処理中
斐伊川放水路建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書5(1999)				
三田谷Ⅰ	114図-11	曲物底板	トレハロース含浸	処理中
三田谷Ⅰ	185図-1	曲物底板	トレハロース含浸	処理中
三田谷Ⅰ	185図-2	曲物底板	トレハロース含浸	処理中
三田谷Ⅰ	185図-3	曲物底板	トレハロース含浸	処理中
三田谷Ⅰ	185図-4	曲物底板	トレハロース含浸	処理中
三田谷Ⅰ	185図-5	曲物底板	トレハロース含浸	処理中
三田谷Ⅰ	185図-6	曲物底板	トレハロース含浸	処理中
三田谷Ⅰ	185図-7	曲物底板	トレハロース含浸	処理中
三田谷Ⅰ	185図-8	斎串状製品	トレハロース含浸	処理中
三田谷Ⅰ	185図-9	斎串状製品	トレハロース含浸	処理中
三田谷Ⅰ	185図-11	板状木製品	トレハロース含浸	処理中
三田谷Ⅰ	186図-1	自在鉤	トレハロース含浸	処理中
三田谷Ⅰ	186図-2	自在鉤	トレハロース含浸	処理中

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況
国道431号道路改築事業(東林木バイパス)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書4(2007)				
山持	48図-19	用途不明品	トレハロース含浸	完了
山持	72図-2	漆器碗	トレハロース含浸	完了
山持	72図-3	用途不明品	トレハロース含浸	完了
山持	79図-3	天秤棒?	ラクチール含浸	処理中
山持	80図-5	桶	ラクチール含浸	処理中
山持	81図-2	枕	ラクチール含浸	処理中
山持	81図-3	柱材	ラクチール含浸	処理中
山持	81図-4	部材等	ラクチール含浸	処理中
国道431号道路改築事業(東林木バイパス)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書7(2009)				
山持	54図-11		トレハロース含浸	完了
山持	54図-12	用途不明品	トレハロース含浸	完了
山持	64図-3	板状製品	トレハロース含浸	完了
山持	102図-5	ヒョウタン	トレハロース含浸	完了
山持	155図-3	板状製品	アクリル樹脂塗布	処理中
国道431号道路改築事業(東林木バイパス)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書8(2010)				
山持	31図-2	板	ラクチール含浸	処理中
山持	68図-1	板	トレハロース含浸	完了
山持	73図-3	枕	トレハロース含浸	完了
山持	124図-7	底板	トレハロース含浸	完了
山持	124図-8	不明	トレハロース含浸	完了
国道431号道路改築事業(東林木バイパス)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書9(2011)				
山持	45図-2	漆器碗	トレハロース含浸	完了
山持	57図-4	箱か容器	ラクチール含浸	処理中
国道431号道路改築事業(東林木バイパス)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書10(2012)				
山持	48図-1	柱	ラクチール含浸	処理中
山持	48図-2	柱	ラクチール含浸	処理中
山持	48図-3	柱	ラクチール含浸	処理中
山持	48図-4	柱	ラクチール含浸	処理中
山持	49図-5	柱	ラクチール含浸	処理中
山持	49図-6	柱	ラクチール含浸	処理中
山持	123図-172	矢板	ラクチール含浸	処理中
島根県庁改修工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書(2015)				
松江城三之丸跡	9図-3	漆器碗	トレハロース含浸	完了
風土記の丘地内遺跡発掘調査報告書20史跡出雲国府跡7(2011)				
出雲国府跡	17図-1	棒状	トレハロース含浸	完了
出雲国府跡	17図-2	板状	トレハロース含浸	完了
海士町教育委員会所蔵資料				
矢原	-	尺?	トレハロース含浸	完了

表2 金属製品

遺跡名	掲載番号	資料名	材質	処理方法	実施状況	備考
一般国道9号松江道路建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書12(2000)						
社日古墳	16図-2	鉄斧	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	完了	再処理
中国横断自動車道尾道松江線建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書5(2001)						
大堤Ⅰ	88図-3	鉄鎌	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	完了	新規
大堤Ⅰ	88図-4	鉄鎌	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	完了	新規
大堤Ⅰ	88図-5	鉄剣	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	完了	新規
中国横断自動車道尾道松江線建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書10(2001)						
上野Ⅱ	13図-5	鉄器片	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理中	新規
上野Ⅱ	13図-6	鉄器片	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理中	新規
上野Ⅱ	19図-8	鉄器片	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	完了	再処理
上野Ⅱ	19図-9	鉄器片	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	完了	再処理
上野Ⅱ	25図-26	鉄鎌	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	完了	再処理
上野Ⅱ	25図-29	棒状	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理中	新規
上野Ⅱ	25図-30	棒状	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理中	新規
上野Ⅱ	25図-31	鉄塊	鉄	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理中	新規
上野Ⅱ	31図-15	鉄器片または素材	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理中	新規
上野Ⅱ	34図-6	鉄器片	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理中	新規
上野Ⅱ	34図-7	鉄塊	鉄	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理中	新規
上野Ⅱ	55図-7	鉄片	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理中	新規
上野Ⅱ	119図-8	鉄斧または鎌先	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理中	新規
上野Ⅱ	119図-11	板状	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理中	新規
上野Ⅱ	119図-12	板状	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理中	新規
上野Ⅱ	120図-2	鉄器片	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理中	新規
上野Ⅱ	120図-4	鉄器片	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理中	新規
上野Ⅱ	120図-8	鉄片	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理中	新規
上野Ⅱ	120図-9	鉄塊	鉄	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理中	新規
上野Ⅱ	120図-10	鉄塊	鉄	クリーニング・BTA含浸・アクリル樹脂(パラロイドNAD10)含浸	処理中	新規

中国横断自動車道尾道松江線建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書 12 (2001)						
湯後	39 図-13	大刀	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	完了	再処理
湯後	70 図-1	馬具	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	完了	再処理
湯後	70 図-2	馬具	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	完了	再処理
土井・砂	106 図-2	袋状鉄斧	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	完了	新規
土井・砂	106 図-3	刀子	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	完了	新規
土井・砂	106 図-4	ヤリガンナ	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	完了	新規
土井・砂	106 図-5	ヤリガンナ	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	完了	新規
土井・砂	106 図-6	ヤリガンナ	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	完了	新規
中国横断自動車道尾道松江線建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書 16 (2009)						
六重城南	23 図-M5	鉄斧	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	完了	再処理
鉄穴内	123 図-M6	鉄	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	完了	再処理
鉄穴内	123 図-M7	鎌未成品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理中	再処理
鉄穴内	123 図-M9	紡錘車	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	完了	再処理
鉄穴内	132 図-M30	鉄鉗	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理中	再処理
鉄穴内	132 図-M31	未製品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理中	再処理
鉄穴内	149 図-M84	鉄鉗	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理中	再処理
鉄穴内	150 図-M87	未製品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理中	再処理
鉄穴内	150 図-M95	棒状不明品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理中	再処理
鉄穴内	150 図-M98	棒状不明品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理中	再処理
鉄穴内	196 図-M271	鉄鉗	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理中	再処理
鉄穴内	196 図-M272	鑿	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	完了	再処理
鉄穴内	196 図-M280	火打金	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	完了	再処理
鉄穴内	196 図-M274	鑿	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理中	再処理
鉄穴内	196 図-M275	鑿	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理中	再処理
鉄穴内	196 図-M278	未製品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理中	再処理
鉄穴内	196 図-M279	未製品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理中	再処理
鉄穴内	197 図-M287	環状品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理中	再処理
鉄穴内	197 図-M289	刀	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理中	再処理
鉄穴内	197 図-M291	板状不明品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理中	再処理
鉄穴内	197 図-M294	棒状不明品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理中	再処理
鉄穴内	198 図-M299	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理中	再処理
鉄穴内	198 図-M300	釘?	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理中	再処理
鉄穴内	198 図-M302	釘?	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理中	再処理
鉄穴内	198 図-M307	釘?	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理中	再処理
鉄穴内	210 図-M373	不明品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理中	再処理
鉄穴内	243 図-M416	鉄鎌	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理中	再処理
鉄穴内	244 図-M418	鉄鉗	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	完了	再処理
鉄穴内	(仮) 非-1	鉄塊	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	処理中	再処理
主要地方道松江島根線改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 1 (2011)						
西川津	202 図	銅鐸	青銅	クリーニング・BTA 含浸・アクリル樹脂 (パラロイド B72) 含浸	処理中	新規
松江市教育委員会所蔵資料						
金崎 1 号墳	-	刀子	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂 (パラロイド NAD10) 含浸	完了	新規
金崎 1 号墳	-	紡錘車	青銅	クリーニング・BTA 含浸・アクリル樹脂 (パラロイド B72) 含浸	完了	新規

② 理化学分析

表 3 X線撮影

実施日	依頼者	資料	点数	備考
6月27日	島根県埋蔵文化財調査センター	大堤 1 遺跡鉄鎌ほか	16	保存処理前
7月7日	島根大学	金崎 1 号墳、白畑古墳出土鉄器	6	

表 4 赤外線撮影

実施日	依頼者	資料	点数	備考
10月03日	宗教学人佐太神社代表役員	重要文化財佐太神社正殿小屋裏墨書	1	報告書

表 5 蛍光 X線分析

実施日	依頼者	内容	点数	備考
6月19日	島根県埋蔵文化財調査センター	古屋敷遺跡出土彩文土器・赤彩耳栓付着顔料の同定	5	
7月29日	世界遺産センター	古龍遺跡出土るつぼ等の付着物質の同定	3	
8月8日～9月2日	松江市教育委員会	茶山 3 号墳出土赤色顔料成分の同定	一括	報告書作成
平成 27 年 1 月 19 日	出雲弥生の森博物館	赤彩土器付着顔料の同定	20	報告書作成

(5) 試掘確認調査・分布調査

国庫補助事業として以下のとおり実施した。

①平成 26 年度確認調査

事業・路線名	名称等(試掘実施時)	所在地	現地調査期間	実施した調査 (トレンチ面積合計)	調査概要
一般国道 9 号(出雲湖陵道路) 改築事業予定地	B調整池建設予定地 (玉泉寺裏遺跡東接地)	出雲市東神西町 御崎谷	5月7日～19日	トレンチ 9 か所 (77㎡)	遺構・遺物なし
	板高池遺跡	出雲市湖陵町 常楽寺	5月19日～20日	トレンチ 2 か所 (32㎡)	弥生土器、土師器、須恵器
	常楽寺柿木田古墳群	出雲市湖陵町 常楽寺松ノ前	8月25日～9月3日	トレンチ 9 か所 (49㎡)	溝・溝状遺構、弥生土器
	麓Ⅱ遺跡 (橋脚1地点)	出雲市東神西町 麓	9月16日	トレンチ 1 か所 (12㎡)	弥生土器、土師器、須恵器、陶磁器
	中上Ⅱ遺跡	出雲市東神西町	9月17日～22日	トレンチ 7 か所 (103㎡)	建物、柱穴、弥生土器、土師器
	のこの子横穴墓群	出雲市湖陵町 常楽寺松ノ前	9月3日～10月20日	トレンチ 39 か所 (185㎡)	遺構・遺物なし
一般国道 9 号(湖陵多伎道路) 改築事業予定地	1 要注意箇所	出雲市湖陵町 三部	12月1日～5日	トレンチ 2 か所 (51㎡)	遺構・遺物なし
	2 要注意箇所	出雲市湖陵町 二部	12月8日～12日	トレンチ 4 か所 (49㎡)	遺構・遺物なし
一般国道 9 号(朝山大田道路) 改築事業予定地	門遺跡	大田市久手町 刺鹿 1485-2 外	8月25日～29日	トレンチ 1 か所 (17㎡)	弥生土器
	近谷遺跡	大田市久手町 波根西 1640-6 外	12月1日～19日	トレンチ 5 か所 (28㎡)	須恵器
一般国道 9 号(静岡仁厚道路) 改築事業予定地	大田地頭所遺跡	大田市仁厚町 大田 245-4 外	7月10日～8月28日	トレンチ 5 か所 (66㎡)	ビット、弥生～近世の遺物
	近世山陰道推定地 (垂水地区)	大田市静岡町 765-1 外	8月29日～9月30日	トレンチ 7 か所 (98㎡)	石列
	工-2 要注意箇所	大田市五十猛町 569-1 外	10月1日～20日	トレンチ 4 か所 (49㎡)	遺構なし、土器、陶器
	嘉庭遺跡	大田市五十猛町 2455-2 外	10月21日～11月20日	トレンチ 5 か所 (40㎡)	近世以降の加工段
	地頭所城跡	大田市五十猛町 2307 外	11月21日～12月15日	トレンチ 2 か所 (13㎡)	遺構・遺物なし
	09 要注意箇所	大田市大屋町 大屋 830 外	12月16日～26日	トレンチ 3 か所 (23㎡)	遺構なし、石器
一般国道 9 号(三隅益田道路) 改築事業予定地	要注意箇所 1	浜田市三隅町 三隅 156-1	10月17日～20日	トレンチ 4 か所 (40㎡)	遺構・遺物なし
	要注意箇所 2	浜田市三隅町 三隅 2002 外	10月15日～17日	トレンチ 5 か所 (50㎡)	遺構・遺物なし
	要注意箇所 3	浜田市三隅町 三隅 233 外	10月8日～15日	トレンチ 4 か所 (40㎡)	遺構・遺物なし
	要注意箇所 4	浜田市三隅町 三隅 1989-2	10月8日～15日	トレンチ 1 か所 (10㎡)	遺構・遺物なし
	要注意箇所 5	浜田市三隅町 三隅 325-2 外	10月20日～24日	トレンチ 2 か所 (20㎡)	弥生～中世土器、漆器碗
	要注意箇所 7	浜田市三隅町 三隅 1940-1 外	10月29日	トレンチ 2 か所 (20㎡)	遺構・遺物なし
	要注意箇所 8	浜田市三隅町 三隅 580-1 外	10月27日～28日	トレンチ 2 か所 (20㎡)	遺構・遺物なし
	要注意箇所 13	浜田市三隅町 古市場 2143	11月4日	トレンチ 2 か所 (20㎡)	遺構・遺物なし
	要注意箇所 16	浜田市三隅町 古市場 1788-1	10月30日	トレンチ 1 か所 (10㎡)	遺構・遺物なし
	要注意箇所 25	益田市西平原町 1433-1	11月27日	トレンチ 2 か所 (20㎡)	遺構・遺物なし
	要注意箇所 26	益田市西平原町 1421-1	11月27日～12月1日	トレンチ 6 か所 (60㎡)	遺構・遺物なし
	要注意箇所 35	益田市遠田町 1088	11月19日～21日	トレンチ 4 か所 (40㎡)	遺構なし、須恵器、土師器
	要注意箇所 36	益田市遠田町 1074-2	11月14日～18日	トレンチ 5 か所 (50㎡)	須恵器、土師器
	要注意箇所 38	浜田市三隅町 三隅 299	10月7日～8日	トレンチ 2 か所 (20㎡)	遺構・遺物なし
	要注意箇所 40	浜田市三隅町 古市場 458-1 外	11月5日～7日	トレンチ 2 か所 (20㎡)	古墳～中世土器、木製品
	要注意箇所 41	浜田市三隅町 古市場 2091	11月4日	トレンチ 1 か所 (10㎡)	遺構・遺物なし
	要注意箇所 44	益田市土田町 295-3 外	11月26日	トレンチ 2 か所 (20㎡)	遺構・遺物なし
	要注意箇所 45	益田市西平原町 1432-8	11月21日～26日	トレンチ 2 か所 (20㎡)	遺構・遺物なし
	要注意箇所 49	益田市本部町 イ 797	11月11日	トレンチ 1 か所 (10㎡)	遺構・遺物なし
	要注意箇所 50	益田市本部町 イ 568	11月12日～13日	トレンチ 1 か所 (10㎡)	遺構・遺物なし
	要注意箇所 51	益田市本部町 イ 578	11月12日	トレンチ 1 か所 (10㎡)	遺構・遺物なし
国道 432 号菅原広瀬バイパス 改築事業予定地	要注意箇所①	安来市広瀬町 広瀬 203-4 外	11月6日～17日	トレンチ 8 か所 (100㎡)	加工段、縄文土器、弥生土器、須恵器
国道 432 号大庭バイパス 改築事業予定地	川原宮Ⅱ遺跡	松江市大庭町 272 外	5月30日～6月6日	トレンチ 2 か所 (72㎡)	遺構・遺物なし
	要注意箇所	松江市山代町 477-2	8月18日～19日	トレンチ 1 か所 (22㎡)	遺構・遺物なし
	要注意箇所	松江市山代町 476-11 外	12月17日～18日	トレンチ 1 か所 (23㎡)	遺構・遺物なし

②平成 26 年度詳細分布調査

計画事業名	調査地	調査期間	市町村協力
一般国道 9 号(出雲湖陵道路) 改築事業予定地(本線部)	出雲市湖陵町常楽寺 外	6月16日	出雲市文化環境部
一般国道 9 号(出雲湖陵道路) 改築事業予定地(出雲 I C 付近調整地)	出雲市神西沖町浅柄 外	平成 27 年 3 月 9 日	出雲市文化環境部
一般国道 9 号(湖陵多伎道路) 改築事業予定地(工事用道路等付帯工事)	出雲市湖陵町三部～出雲市多伎町久村	平成 27 年 3 月 9 日	出雲市文化環境部
福光浅利道路(仮称)予定地付近	江津市黒松町～江津市松川町	平成 27 年 2 月 23 日～27 日	江津市教育委員会
浜田港福井地区臨港道路整備予定地	浜田市熱田町	5月20日	浜田市教育委員会

Ⅶ 県内発掘調査一覧

市町村など（*平成 25 年 12 月 28 日～平成 26 年 12 月 26 日に通知のあったもの）

番号	対象遺跡			発掘通知書			調査の目的・契機等
	種別	名称	所在地	発掘担当者	発掘面積 (㎡)	発掘予定期間	
1	城館跡	津和野城下町遺跡	鹿足郡津和野町 後田口 5-3	津和野町教育委員会 伊藤悟郎	2	260203- 260228	個人住宅
2	集落跡	日赤敷地遺跡	益田市乙吉町 イ 103-1	益田市教育委員会 長澤和幸	170	260129- 260205	その他の建物 (病院)
3	その他の遺跡 (近世街道)	山陰道 (土床坂)	江津市江津町	江津市教育委員会 伊藤 創	27	260204- 260328	保存目的
4	散布地	修理免本郷遺跡	出雲市大社町 修理免 1443 番 1 他	出雲市文化財課 穴道年弘	24	260210- 260228	その他の建物 (ホテル建設)
5	その他の遺跡 (城下町)	津和野城下町遺跡	鹿足郡津和野町 中座イ 887 番地	津和野町教育委員会 伊藤悟郎	4	260303- 260307	その他開発 (携帯電話無線 基地局設置)
6	集落跡	B16 遺跡	松江市大庭町 字小原 1094 番 1	松江市まちづくり文化財課 川上昭一	62	260227- 260312	個人住宅
7	生産遺跡	富金原・小川共同窯跡	江津市二宮町神主 1962-10	江津市教育委員会 伊藤 創	270	260303- 260331	宅地造成
8	散布地	寿昌寺西遺跡	出雲市塩冶町 89-1	島根大学ミュージアム会下 和宏	40	260224- 260307	その他開発 (防火水槽埋設 工事)
9	散布地	森屋敷遺跡	松江市宍道町 字宍道 885-3	(公財)松江市スポーツ振興財団 落合昭久	500	260414- 260731	その他の建物 (複合施設)
10	散布地 集落跡	長廻遺跡	松江市上乃木 四丁目 2598-1 外	(公財)松江市スポーツ振興財団 江川幸子	293	260414- 260530	宅地造成
11	散布地	半田浜遺跡	江津市二宮町神主 1820-25	江津市教育委員会 伊藤 創	200	260421- 260502	土砂採取
12	生産遺跡	富金原・小川共同窯跡	江津市二宮町神主 1962-10 地先ほか	江津市教育委員会 伊藤 創	270	260412- 260630	宅地造成
13	集落跡	蔵屋敷遺跡	松江市大庭町 891-29、 891-12	松江市まちづくり文化財課 徳永 隆	18	260424- 260502	その他の建物 (駐車場造成)
14	集落跡	杉沢遺跡	出雲市斐川町直江 835 番地 4 外	出雲市文化財課 奥原このみ	2,000	260424- 260829	その他開発 (工業団地造成)
15	社寺跡	出雲大社境内遺跡	出雲市大社町 杵築東 195	出雲市文化財課 三原一将	250	260407- 270331	その他開発 (排水路整備)
16	生産遺跡	菅谷たたら山内高殿	雲南市吉田町菅谷 1225 番地外	雲南市教育委員会 坂本諭司	48	260515- 260531	保存目的
17	横穴墓	上塩冶横穴墓群	出雲市上塩冶町	出雲市文化財課 須賀照隆	2,200	260401- 260531	道路

18	集落跡	高城城跡	雲南市加茂町宇治 776-8	雲南市教育委員会 高橋誠二	3600	260508- 270331	その他開発 (企業団地造成)
19	集落跡	石見銀山遺跡	大田市大森町ハ 159	大田市教育委員会 山手貴生	300	260507- 260630	遺跡整備
20	その他の遺跡 (経塚)	中尾崎経塚	松江市東出雲町 下意東 3145 番	松江市まちづくり文化財課 徳永 隆	40	260519- 260606	その他の建物 (福祉施設)
21	城館跡	津和野城下町遺跡	鹿足郡津和野町 後田イ 305-1、305-2	津和野町教育委員会 伊藤悟郎	6	260527- 260613	個人住宅
22	生産遺跡	田儀櫻井家たたら 製鉄遺跡 越堂たたら跡	出雲市多伎町 口田儀 910-51	出雲市文化財課 幡中光輔	300	260523- 270331	遺跡整備
23	その他の遺跡	中世今市遺跡	益田市乙吉町イ 959	益田市教育委員会 佐伯昌俊	20	260602- 260613	道路
24	集落跡 古墳	茶山遺跡	松江市浜乃木 四丁目 896 外	(公財)松江市スポーツ振興財団 江川幸子	588	260606- 260829	宅地造成
25	集落跡	大庭小原遺跡	松江市大庭町 1089 番外 5 筆	(公財)松江市スポーツ振興財団 古藤博昭	324	260609- 260731	宅地造成
26	その他の遺跡 (城下町遺跡)	松江城下町遺跡 (雑賀町 626-1)	松江市雑賀町 626-1	松江市まちづくり文化財課 川西 学	820	260616- 260618	宅地造成
27	古墳	廻原 1 号墳	松江市朝酌町 1166	島根大学法文学部 考古学研究室 岩本 崇	31	260901- 260930	学術研究 (内容確認調査)
28	その他の遺跡 (城下町遺跡)	松江城下町遺跡 (奥谷町 22-2 外)	松江市奥谷町 22 番 6	松江市まちづくり文化財課 川西 学	168	260630- 260701	個人住宅
29	その他の遺跡 (城下町遺跡)	松江城下町遺跡 (栄町 802-15 外)	松江市栄町 802 番 15 外	松江市まちづくり文化財課 川上昭一	19	260723- 260730	個人住宅
30	集落跡	馬渡り遺跡	出雲市東林木町 1097-4	出雲市文化財課 石原 聡	5	260615- 260728	その他の建物 (浄化槽)
31	生産遺跡	青松遺跡	邑智郡邑南町 上田所 2355 番地 4	邑南町教育委員会 佐々木義彦	300	260701- 260930	道路
32	散布地	島根大学構内遺跡	松江市西川津町 字橋縄手 1033 番 5	島根大学ミュージアム 会下和宏	40	260714- 260829	その他開発 (アンテナ設置工 事)
33	集落跡	下古志遺跡	出雲市下古志町 703 番地他 4 筆	出雲市文化財課 宍道年弘	1,156	260725- 260812	店舗
34	社寺跡	出雲大社境内遺跡	出雲市大社町 杵築東 195	出雲市文化財課 石原 聡	52	260707- 260806	その他建物 (渡り廊下)
35	その他の遺跡 (城下町遺跡)	松江城下町遺跡 (南田町 104-3 外)	松江市南田町 104-3 外	(公財)松江市スポーツ振興財団 徳永桃代	154	260806- 261126	道路
36	散布地	北浦松ノ木遺跡	松江市美保関町 622 番地 2	(公財)松江市スポーツ振興財団 廣濱貴子	180	260806- 261031	河川
37	その他の遺跡 (城下町遺跡)	松江城下町遺跡 (奥谷町 322)	松江市奥谷町 322 番地	松江市まちづくり文化財課 川上昭一	4	260801- 260804	その他の建物 (展示施設)

38	城館跡	立岩小丸砦跡	出雲市佐田町須佐 1615-5 外	出雲市文化財課 須賀照隆	250	260818- 260930	道路
39	社寺跡	出雲大社境内遺跡	出雲市大社町 杵築東 195	出雲市文化財課 三原一将	51	260804- 270331	その他開発 (排水路整備)
40	集落跡	古浦砂丘遺跡	松江市鹿島町古浦 字砂山 607 番 3	松江市まちづくり文化財課 徳永 隆	3	260825- 270329	その他の建物 (モニタリングポスト)
41	城館跡	津和野城下町遺跡	鹿足郡津和野町 後田ハ 12-3	津和野町教育委員会 伊藤悟郎	5	260801- 260829	保存目的
42	生産遺跡	床屋製錬遺跡	邑智郡邑南町久喜 932 番地内	邑南町教育委員会 角矢栄嗣	350	260924- 270331	遺跡整備
43	生産遺跡	久喜製錬所跡	邑智郡邑南町久喜 1712 番地 2 外	邑南町教育委員会 森岡弘典	40	260924- 270331	遺跡整備
44	生産遺跡	萱ノ鉄穴場跡	雲南市吉田町吉田 4204-36 番地	雲南市教育委員会 志賀 崇	2	260908- 260931	保存目的
45	散布地	立ヶ袋遺跡	松江市美保関町 森山 259-1 外	松江市まちづくり文化財課 川上昭一	288	260917- 260930	その他開発 (活断層調査)
46	その他の遺跡 (城下町遺跡)	松江城下町遺跡 (奥谷町 11-2)	松江市奥谷町 11-17	松江市まちづくり文化財課 徳永 隆	5	260929- 261003	個人住宅
47	散布地	後山遺跡	飯石郡飯南町 下来島 3399-1 外	飯南町教育委員会 振井久之	2,000	261001- 261031	道路
48	集落跡	沖手遺跡	益田市久城町 12 外	益田市教育委員会 佐伯昌俊	400	261014- 261226	保存目的
49	集落跡	富原Ⅱ遺跡	松江市古志原 3 丁目 1067 番 1 外	松江市まちづくり文化財課 川西 学	86	261009- 261010	宅地造成
50	集落跡 その他の墓	古浦砂丘遺跡	松江市鹿島町古浦 字砂山 607 番 3	松江市まちづくり文化財課 徳永 隆	22	261014- 261024	その他の建物 (モニタリングポスト)
51	その他の遺跡 (城下町遺跡)	津和野城下町遺跡	鹿足郡津和野町 後田イ 194-3	津和野町教育委員会 伊藤悟郎	2	261017- 261031	個人住宅
52	横穴墓	上塩冶横穴墓群	出雲市上塩冶町 1856-2 番地外	出雲市文化財課 須賀照隆	20	2610 下旬 2610 下旬	道路
53	集落跡	大庭北原遺跡	松江市大庭町 1146-27	松江市まちづくり文化財課 川西 学	105	261104- 261107	道路
54	集落跡	廻り遺跡	松江市西長江町 477-2 外	(公財)松江市スポーツ振興財団 廣濱貴子	272	261117- 270130	道路
55	その他の遺跡 (城下町遺跡)	松江城下町遺跡 (奥谷町 170-3 外)	松江市奥谷町 170 番 3 外	松江市まちづくり文化財課 川西 学	60	261105- 261110	宅地造成
56	散布地	浜分Ⅱ遺跡	松江市八幡町 818 番 1	松江市まちづくり文化財課 川西 学	42	2612 中旬 2702 下旬	ガス・水道・ 電気等
57	集落跡	八神上ノ原遺跡	江津市松川町八神 175 地先外	江津市教育委員会 伊藤 創	3,900	260929- 261114	農業基盤整備事業 (農道等を含む)
58	城館跡	浜田城裏門跡	浜田市殿町 27 番地 1 外	浜田市教育委員会 藤田大輔	6	261215- 270131	遺跡整備

59	官衙跡	出雲国造館跡	松江市大庭町字元鳥居 291-2 外	松江市まちづくり文化財課 徳永 隆	12	261201- 261201	宅地造成
60	古墳	東淵寺古墳	松江市大庭町 792-9 外	松江市まちづくり文化財課 赤澤秀則	317	270106- 270130	道路
61	集落跡	下古志遺跡	出雲市下古志町 703 番 地外 4 筆	出雲市文化財課 景山真二	34	261216- 261226	店舗
62	官衙跡	出雲国造館跡	大庭町字元鳥居 291-2 外	松江市まちづくり文化財課 川上昭一	70	270106- 270123	宅地造成
63	散布地 集落跡	長廻遺跡	松江市上乃木 四丁目 2598-1 外	松江市まちづくり文化財課 徳永 隆	232	261215- 270227	宅地造成

県（*平成 25 年 12 月 28 日～平成 26 年 12 月 26 日に通知のあったもの）

番号	対象遺跡			発掘通知書			調査の目的・契機等
	種別	名称	所在地	発掘担当者	発掘面積 (㎡)	発掘予定 期間	
1	城館跡	松江城	松江市殿町 1 番地	角田徳幸	14	2601 上旬 2601 中旬	その他の建物 (庁舎)
2	散布地	板高池遺跡	出雲湖陵町 352-3 外	人見麻生	16	260507- 260530	その他の建物 (調整池)
3	集落跡	川原宮Ⅱ遺跡	松江市大庭町 137-1 外	大庭俊次	2,500	260526- 261031	道路 (国道 432 号大庭バイパス)
4	散布地	高原遺跡	大田市波根町上川内 371 外	是田 敦	1,000	260521- 260822	道路 (一般国道 9 号朝山大田道路)
5	集落跡	古屋敷遺跡	大田市仁摩町大国 135 外	林健 亮	4,100	260522- 261218	道路 (一般国道 9 号静間仁摩道路)
6	散布地 集落跡	高浜Ⅰ遺跡	出雲市里方町	今岡一三	1,800	260528- 261024	道路(県道矢尾今市線)
7	集落跡	玉泉寺裏遺跡	出雲市東神西町御崎谷 1472 外	人見麻生	1,140	260528- 260831	道路 (一般国道 9 号出雲湖陵道路)
8	散布地 集落跡	麓Ⅱ遺跡	出雲市東神西町麓 742 外	勝部智明	1,450	260528- 260815	道路 (一般国道 9 号出雲湖陵道路)
9	横穴墓	大西大師山遺跡	大田市久手町波根西 2490 外	宮本正保	5,500	260609- 261226	道路 (一般国道 9 号朝山大田道路)
10	生産遺跡	神谷遺跡	大田市久手町波根西 2537-3 外	久保田一郎	320	260526- 260627	道路 (一般国道 9 号朝山大田道路)
11	古墳 その他の墓	涼見 E 遺跡	大田市久手町刺鹿 3014-3 外	久保田一郎	140	260630- 260725	道路 (一般国道 9 号朝山大田道路)
12	散布地	地頭所遺跡	大田市仁摩町大国 245-4 外	伊藤 智	70	260710- 260725	道路 (一般国道 9 号静間仁摩道路)
13	古墳	上竹矢 7 号墳	松江市竹矢町字上竹矢後 1605 他	神柱晴彦	150	260901- 261128	学術研究

14	散布地	門遺跡	大田市久手町刺鹿 1465-2	是田 敦	313	260818- 260919	道路 (一般国道9号朝山大田道路)
15	生産遺跡	城ヶ谷遺跡	大田市久手町刺鹿 3006-10 外	久保田一郎	3,500	260522- 261031	道路 (一般国道9号朝山大田道路)
16	古墳	常楽寺柿木田古墳群	出雲市湖陵町 940-1 外	勝部智明	2,440	260825- 260905	道路 (一般国道9号出雲湖陵道路)
17	集落跡	中上Ⅱ遺跡	出雲市東神西町 345 外	勝部智明	2,450	260903- 260919	道路(出雲湖陵道路) その他開発(調整池)
18	集落跡	麓Ⅱ遺跡	出雲市東神西町 446-4	勝部智明	320	260901- 260912	道路 (一般国道9号出雲湖陵道路)
19	古墳	のの子谷横穴墓群	出雲市湖陵町 959 外	勝部智明	5,600	260908- 261010	道路 (一般国道9号出雲湖陵道路)
20	散布地	中尾Ⅱ遺跡	大田市久手町刺鹿 232-22	内田律雄	263	260818- 261017	道路 (一般国道9号朝山大田道路)
21	その他の遺跡 (近世街道)	近世山陰道推定地	大田市静間町 765-1 外	伊藤 智	90	260829- 260926	道路 (一般国道9号静間仁摩道路)
22	散布地	門遺跡	大田市久手町刺鹿 1465-2	是田 敦	180	261001- 261114	道路 (一般国道9号朝山大田道路)
23	集落跡	坂本谷遺跡	出雲市西神西町字坂本 163 外	勝部智明	1,470	261016- 261226	道路 (一般国道9号出雲湖陵道路)
24	古墳	東百塚山古墳群	松江市大草町 1157-1 外 1	岩橋孝典	108	261030- 261228	学術研究 (風土記の丘地内調査)
25	生産遺跡	陰地たたら遺跡	仁多郡奥出雲町大谷 817 番地 3	松尾充晶	175	261117- 261217	保存目的
26	古墳	東淵寺古墳	松江市大庭町 792-3	神柱晴彦	20	261201- 261226	学術研究
27	横穴墓	近谷遺跡	大田市久手町波根西 2431 外	是田 敦	50	261201- 261226	道路

Ⅷ 刊 行 物

1. 埋蔵文化財調査センター年報 23

平成 27 年 3 月刊行。発行部数 400 部

2. ドキ土器まいぶん（島根県の埋蔵文化財情報誌）

名 称	発 行 月	部 数	内 容
ドキ土器まいぶん No. 56	平成 26 年 9 月	10,000	平成 26 年度上期に実施した発掘調査、活用事業報告、パンフレット刊行案内、まいぶん出土遺物カードなど
ドキ土器まいぶん No. 57	平成 27 年 3 月	10,000	平成 26 年度下期に実施した発掘調査、活用事業報告、報告書刊行案内、一度は行ってみたい島根の遺跡など

3. 発掘調査報告書

報 告 書 名	部数	編集担当者	遺跡の概要
一般国道 9 号（朝山大田道路） 改築工事に伴う埋蔵文化財発掘 調査報告書 3 鈴見 B 遺跡 2 区	261	久保田一郎	鈴見 B 遺跡は大田市久手町波根西の丘陵上に立地する。平坦面を利用して 6 世紀後半から 7 世紀にかけて小規模な集落が営まれた。ピット、溝状遺構、土坑等が確認されたほか、広範囲に炭の散布が認められた。出土遺物に須恵器、土師器、鉄器、ふいごの羽口等がある。
一般国道 9 号（朝山大田道路） 改築工事に伴う埋蔵文化財発掘 調査報告書 4 高原遺跡（2 区）	260	林 健亮	大田市波根町に所在する高原遺跡（2 区）の発掘調査では、古墳時代を中心に縄文から近現代に至る大量の遺物を採集した。出土遺物には背面側にも煙出しを開ける特徴的な移動式竈が含まれるなど、他地域との交流を想定させるものが含まれている。 近代以降の農地の造成により、遺構は残存していなかったが、大規模な古墳時代集落が存在したと考えられ、旧波根湖周辺部での遺跡の広がりや、古墳時代の交流の可能性を検討する上で貴重な資料となった。
島根県庁改修工事に伴う埋蔵 文化財発掘調査報告書 松江城三之丸跡 松江城下町遺跡（殿町 128）	300	椿 真治 角田徳幸 池淵俊一 東山信治	松江城三之丸跡では、近世の礎石建物跡や池跡と考えられる大型の石積み遺構、溝などを検出、三之丸御殿とそれに伴う施設と推測される。 松江城下町遺跡（殿町 128）では、屋敷境の遺構であったと推測される近世の溝や柵列を検出した。
島根県古代文化センター調査研 究報告 49 益田市内における古墳の調査 金山古墳 鷲ノ鼻古墳群 北長迫横穴墓群	600	神柱靖彦	金山古墳では発掘調査により古墳時代中期の円墳と確認された。鷲ノ鼻古墳群では、横穴式石室の実測調査を行い、過去に実施された測量調査成果をまとめ、新たに古墳群全域の平面図を作成した。北長迫横穴墓群では、過去の調査で出土しながら未報告であった出土遺物の一部について整理作業を行った。

4. 発掘調査パンフレット

名 称	発行部数	概 要
庵寺古墳群	4000	大田市にある庵寺古墳群の発掘調査の成果を分かりやすく紹介したパンフレット。A 4 カラー 8 P。
市井深田遺跡	4000	大田市にある市井深田遺跡の発掘調査の成果を分かりやすく紹介したパンフレット。A 4 カラー 8 P。

5. 発掘調査だより（各事務所発行）

名 称	事 業 名	発 行 月	部数	概 要
ほるーと9	朝山大田道路	9 月	540	地元小中学校、地元高校、公民館、教育委員会など
なきすな街道	静間仁摩道路	11 月	100	地元自治会、地元小中学校、地元高校、公民館、教育委員会など

IX 付 編

平成 26 年度国道 432 号菅原広瀬バイパス建設工事に伴う試掘確認調査

事業の概要 国道建設に先立つ分布調査で、古墳状の高まりや広い範囲で緩斜面を確認した要注意箇所①について、国庫補助事業で試掘調査を実施した。

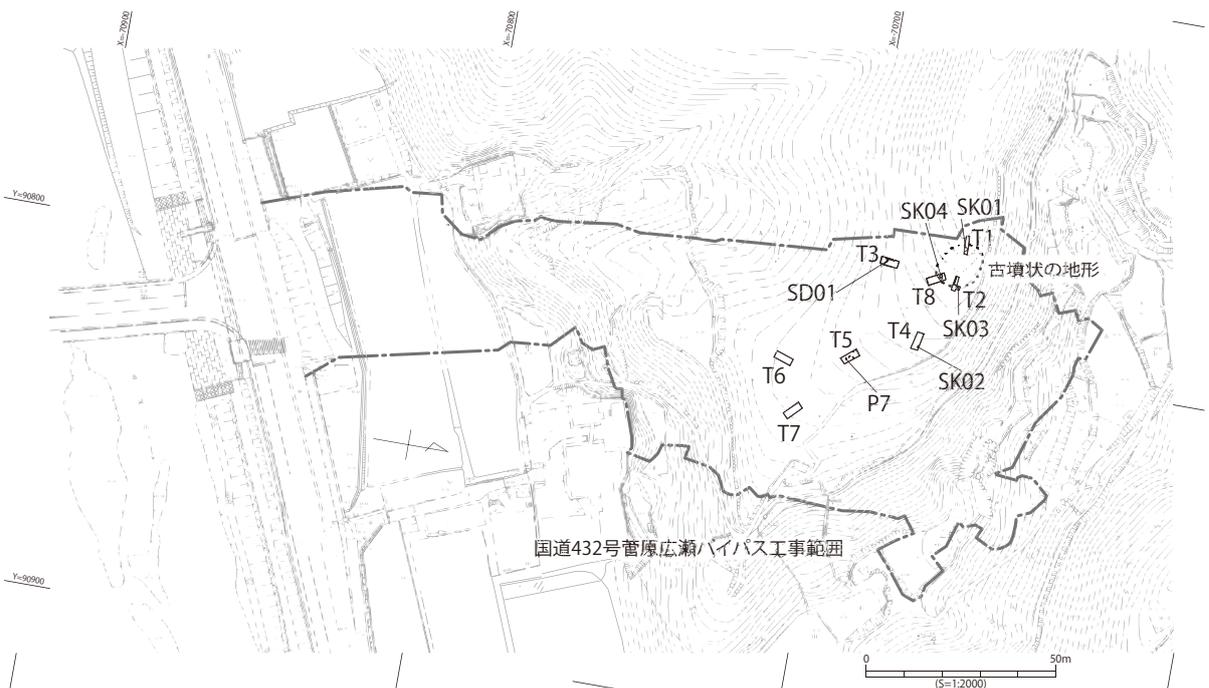
調査の概要 要注意箇所①は、安来市広瀬町中心部の南東、飯梨川に面した標高約 70m の丘陵上に位置する。周辺には縄文時代から近代の陶磁器生産窯跡まで幅広い年代の遺構・遺物が確認されている。調査箇所の約 200 m 東側には八幡山横穴群があり、北東の宮尾Ⅲ遺跡、上広瀬遺跡では竪穴住居跡が確認されている。また、中世には飯梨川対岸の月山に



調査箇所の位置 (S=1/25,000 広瀬)

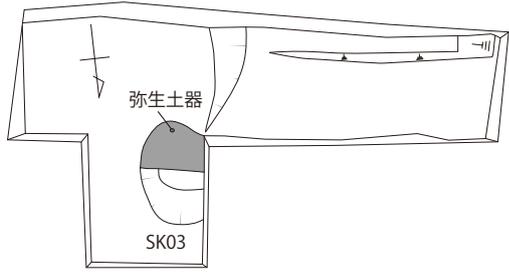
富田城跡が築かれたことから、中世から近世にかけての遺跡が多数存在する。調査は西側の尾根上に 4 箇所、南側斜面に 1 箇所、東側の緩斜面に 3 箇所トレンチを設定し行った。現地調査期間は 11 月 6 日～ 17 日、調査面積は 70㎡である。

遺構の概要 尾根筋に設定した T1・2・4・8 で、埋土に炭や焼土を含む土坑 (SK01～04) を確認した。このうち SK01 と 04 は壁面や床面が赤く焼け、03 と 04 は土坑周辺の斜面を平坦に加工していた。これらの土坑は検出状況から小規模な炭窯跡と判断したが、詳しい時期は不明である。また、T3 では弧状の溝 SD01 を検出した。遺構に伴う遺物が出土していないため、性格や時期は不明である。そのほか T5 でピットを 8 基検出したが、不整形で規模が小さく、建物の柱穴である可能性は低いと判断した。

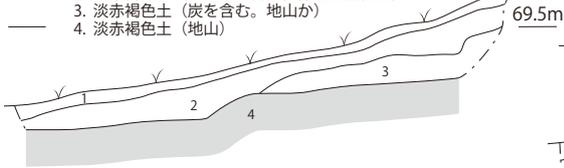


要注意箇所①調査区配置図 (S=1/2,000)

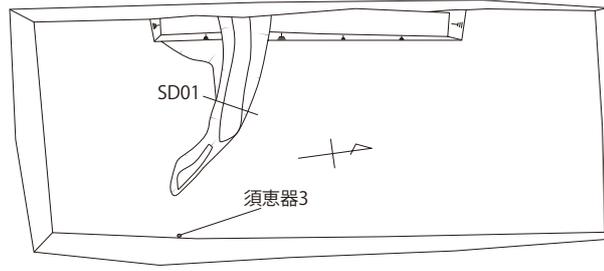
T2



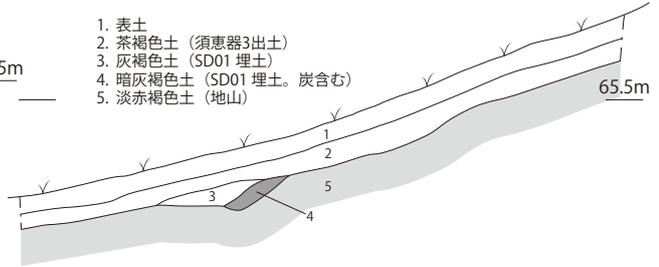
- 1. 表土
- 2. 暗茶褐色土 (炭を多く含む。弥生土器出土)
- 3. 淡赤褐色土 (炭を含む。地山か)
- 4. 淡赤褐色土 (地山)



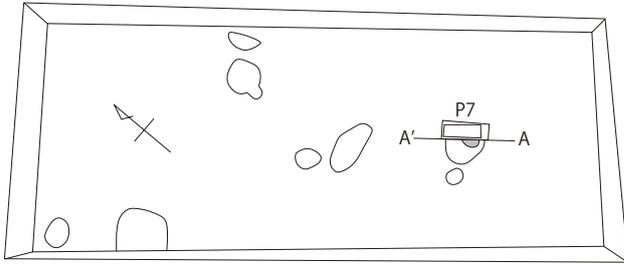
T3



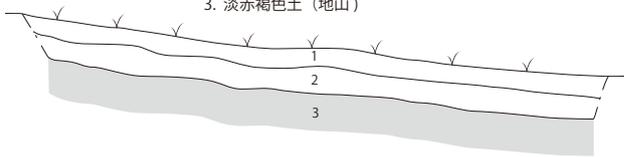
- 1. 表土
- 2. 茶褐色土 (須恵器3出土)
- 3. 灰褐色土 (SD01埋土)
- 4. 暗灰褐色土 (SD01埋土。炭含む)
- 5. 淡赤褐色土 (地山)



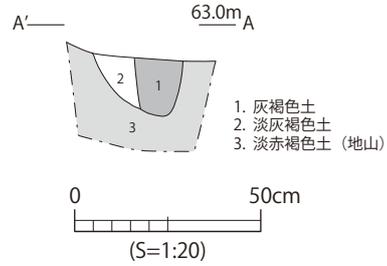
T5



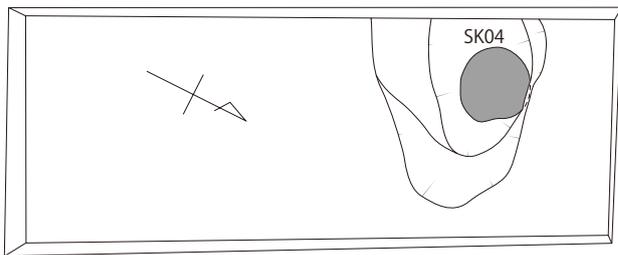
- 1. 表土
- 2. 明茶褐色土 (炭を含む。須恵器2出土)
- 3. 淡赤褐色土 (地山)



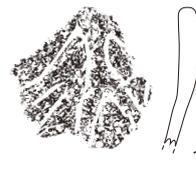
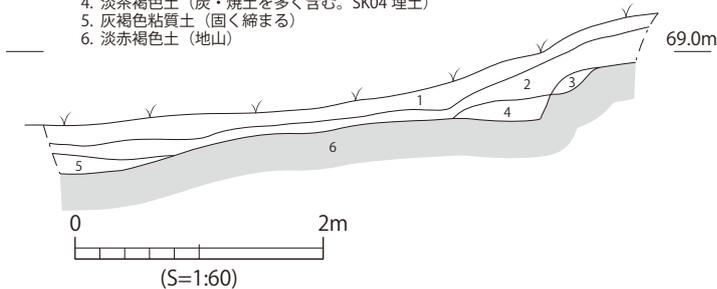
P7 土層断面 S=1/20



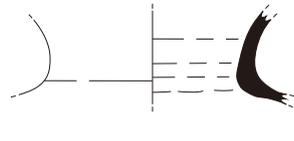
T8



- 1. 表土
- 2. 暗茶褐色土 (炭を多く含む)
- 3. 茶褐色土 (地山か)
- 4. 淡茶褐色土 (炭・焼土を多く含む。SK04埋土)
- 5. 灰褐色粘質土 (固く締まる)
- 6. 淡赤褐色土 (地山)



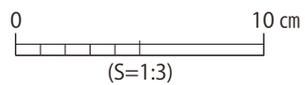
1



2



3



菅原広瀬バイパス要注意箇所① トレンチ実測図 S=1/60

出土遺物 遺物はT2・3・5・7で土器片が1点ずつ出土した。T7で出土した縄文土器**1**は表面が著しく磨滅している。文様から後期初頭頃の深鉢と考えられる。T2で出土した土器片は色調・胎土の様子などから弥生時代後期頃の土器と判断したが、小片のため詳細は不明である。そのほかT5で須恵器壺の頸部**2**、T3で肩部**3**が出土した。これらの遺物は、出土状況からいずれも遺構に伴わないと判断した。

まとめ 調査の結果、僅かに遺物が出土したが、古墳状の高まりは自然地形で、集落跡の存在が予想された緩斜面は後世の地形改変であることが明らかになった。本調査対象とすべき明確な遺構が検出されなかったので、本発掘調査は実施しないこととした。 (東森 晋)



T1 全景 (東から)



SK03 土層断面 (北東から)



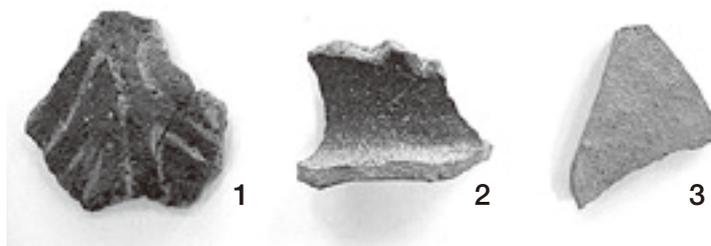
SD01 (東から)



T8 全景 (北から)



P7 土層断面 (東から)



要注意箇所①出土遺物 (番号は本文中と対応)

島根県教育庁

埋蔵文化財調査センター年報 23

発行日 2015年3月20日

編集・発行 島根県教育庁埋蔵文化財調査センター

松江市打出町33番地

Tel.0852-36-8608

ホームページ <http://www.pref.shimane.lg.jp/maizobunkazai/>

Eメール maibun@pref.shimane.lg.jp

印刷 (株)谷口印刷

本文はR100再生紙を利用しています。